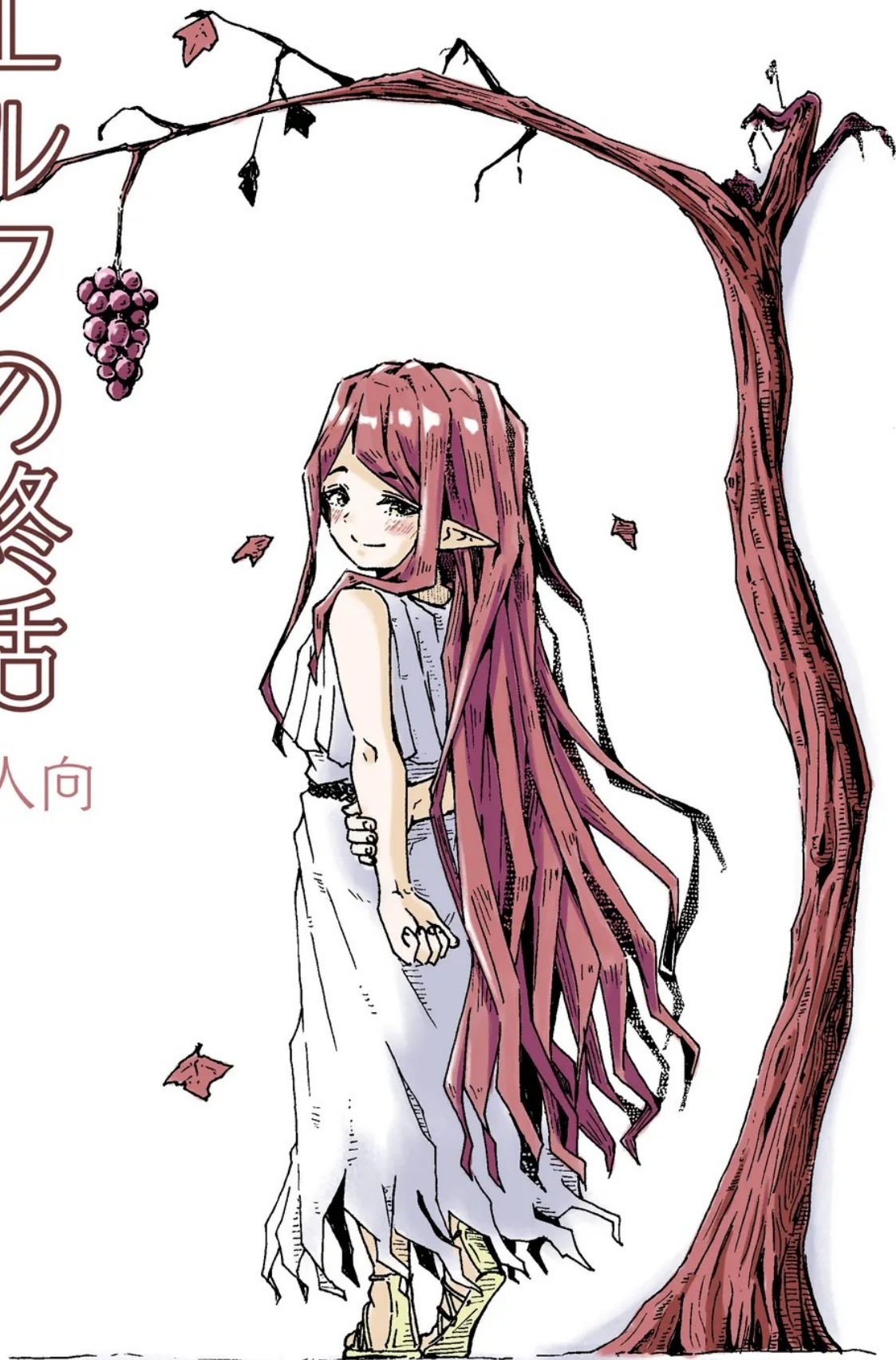


エルフの終活

成人向



ぷはっ

ガバ

この世界は未知に
溢れている…

はあ

はあ

特にここ…
『世界樹の森』は
その宝庫だ

はあ…

異常な植生と生態

…ふう

知られている事は
魔力と呼ばれる
大地の持つ力

それが影響を
及ぼしている
ということだけ

ザッ

その力を吸い上げ
巨大に成長した樹木
『世界樹』

さすがに禁域が
近いと危険も
多いな…

世界樹の根元と
その周辺は
禁域と呼ばれ

むやみに
立ち入る事は
禁じられている

禁じられている
理由はいくつかあり

通常の生物にとって
毒となる魔力に
溢れた環境

やはり内臓は大分
魔力をため込ん
でるな…

素材としての
価値はあるか？

出来れば無駄に
したくないが…

それに適応した
動植物の危険性

すまない…



そしてその禁域で
暮らすとある種族の
存在…

世界樹を
崇め守り

「恵み」と称される
世界樹に実る果実を
糧とし

その長き一生を

世界樹と共に
生きる…



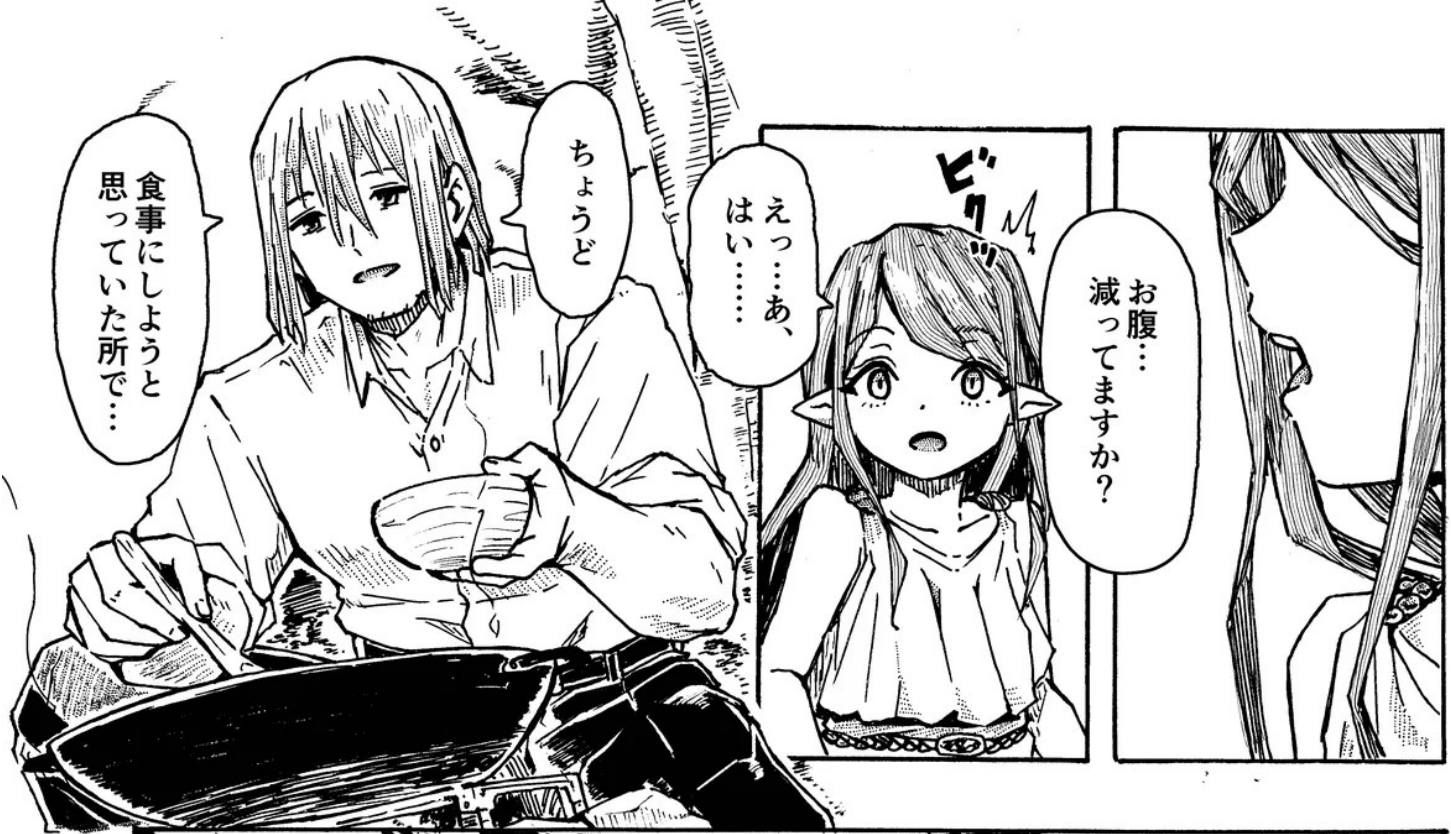
エルフ族…

その存在だ……

『エルフの終活』









以前にも
こんな風に頂いた
ことがあります

ですがそちらは
いただけません

今の私は…

『恵み』すら碌に
受け付けない
身体ですから…



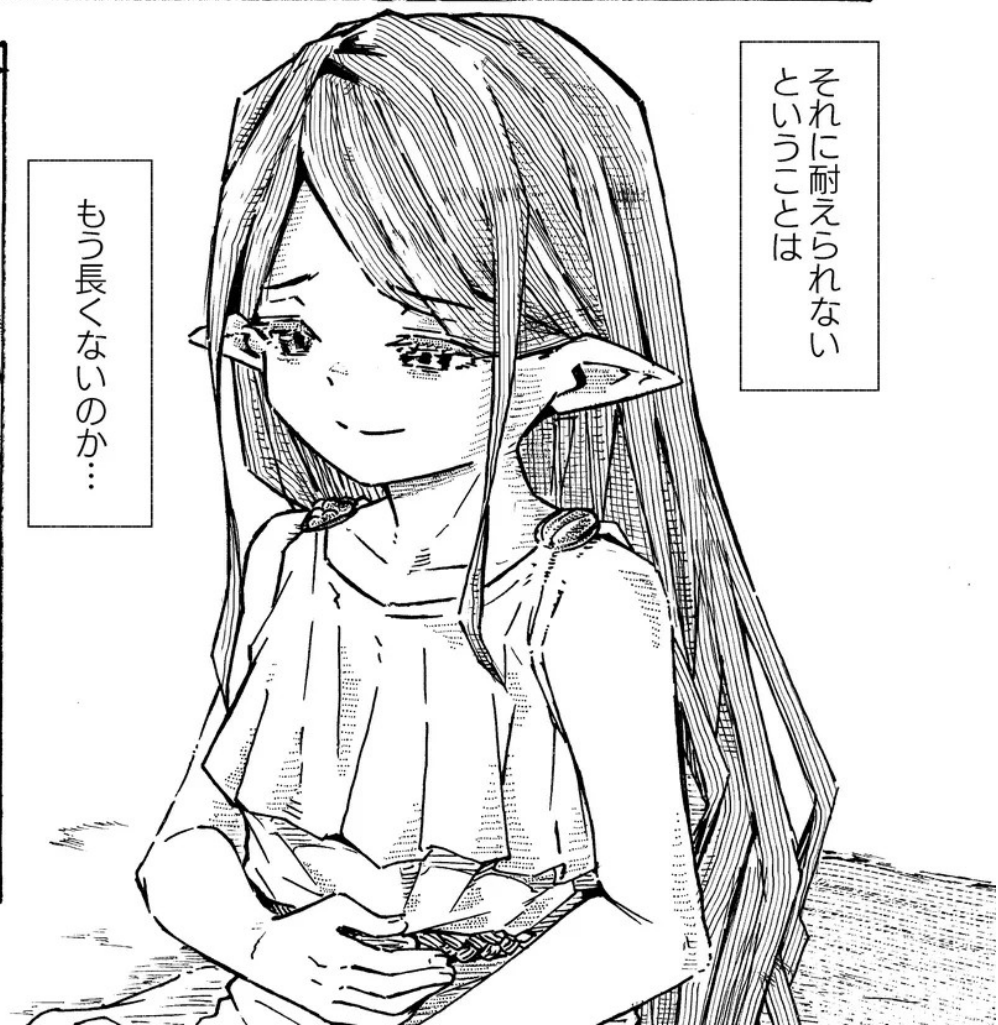
『恵み』なんてものは
はつきり言って
劇毒だ

ただエルフには
それに耐えられる
魔力耐性があるだけ



それなら尚更
食べるべきだ

もう長くないのか…



それに耐えられない
ということ



今のあなたに
必要なものです…



ありがとう
ございました
色々と...

慣れないと思いますが
調理次第で今後も食事は
続けられると思います

.....

あの...
これから
どこへ...

探索も終えたので
そろそろ出ようかと

森の外に

ピク

それでは...

あ、あのっ！

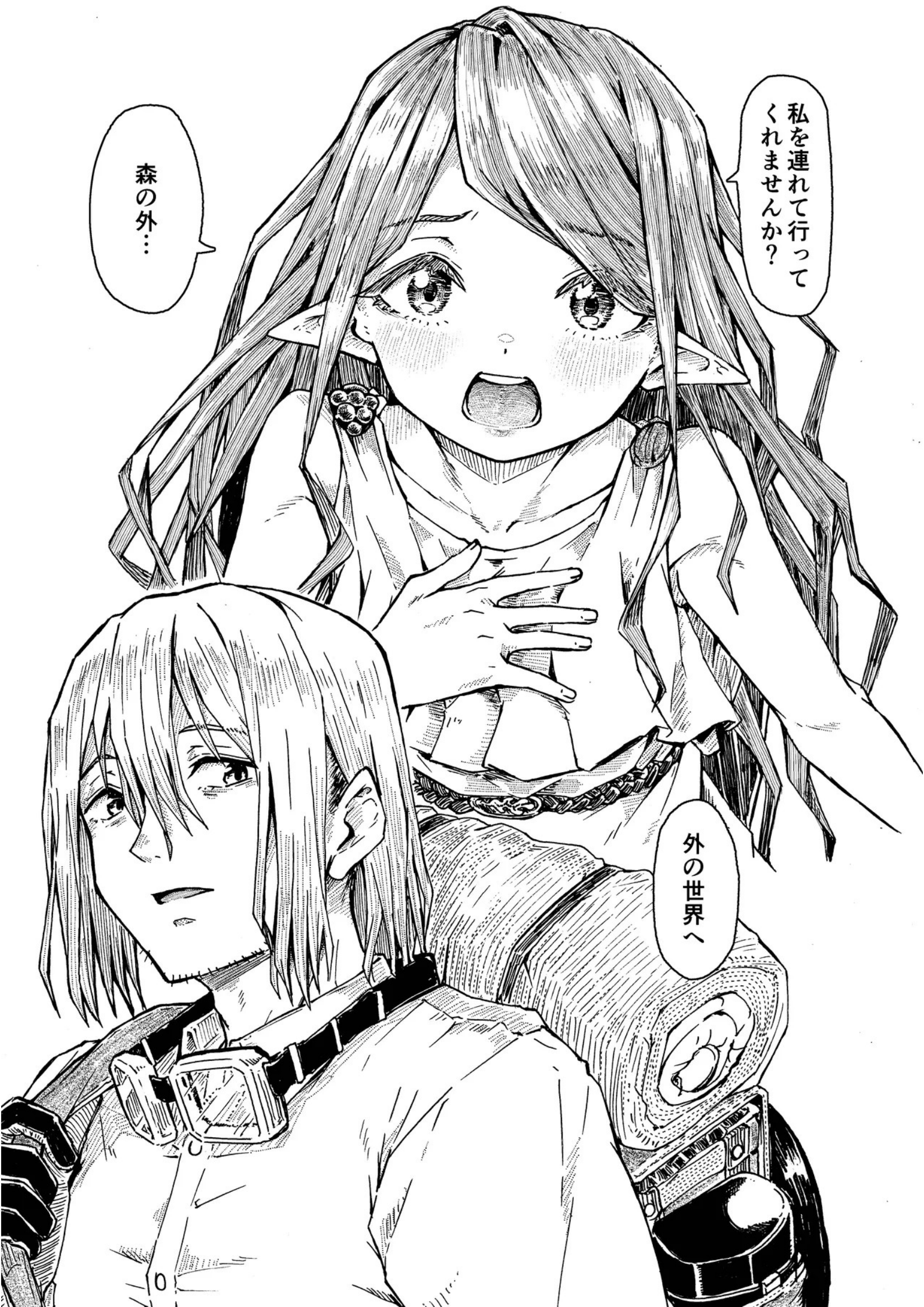
どうしました？

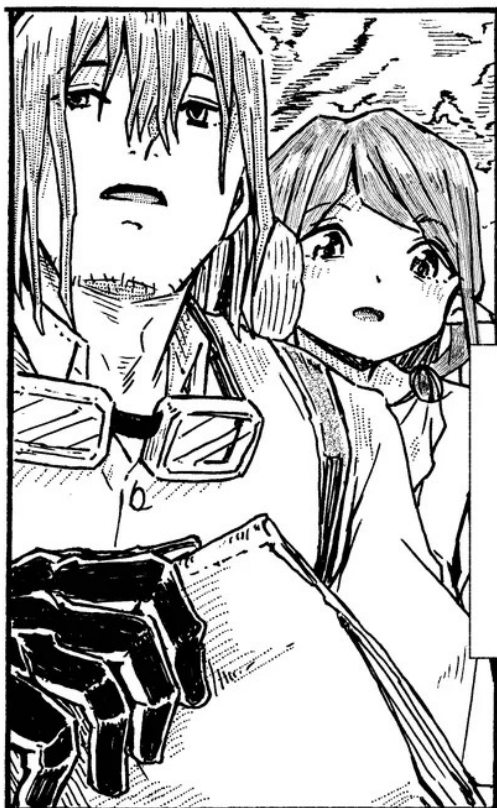
グッ

私を連れて行って
くれませんか？

森の外…

外の世界へ





もう…
戻れませんから…



かまいませんが…
里に戻らなくても
いいんですか？



実は元々
外に出たくて里を
出てきたんです



最後に外の世界を
見てみたくて…

……そう、
だったんですか

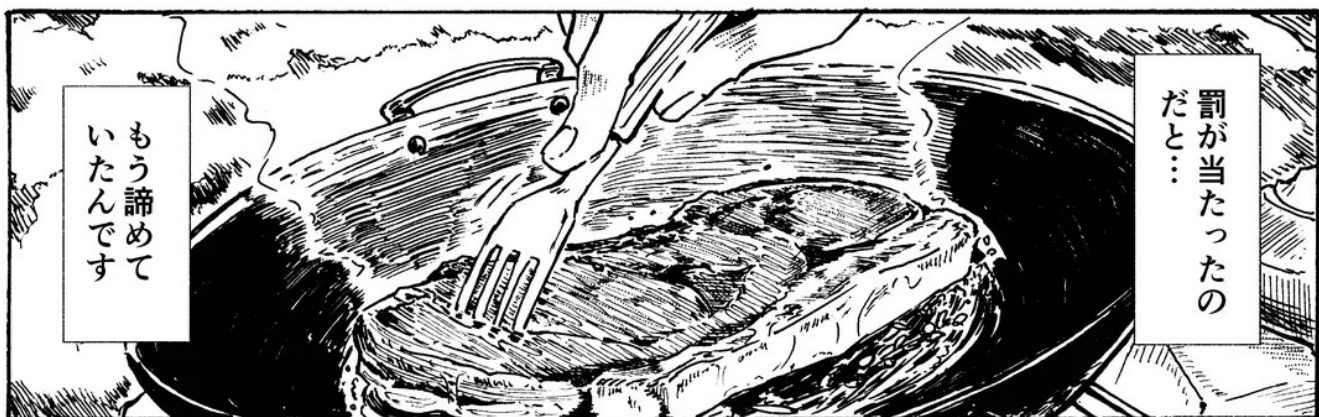


私に残された
最後の役目：

この命を
世界樹に返すこと

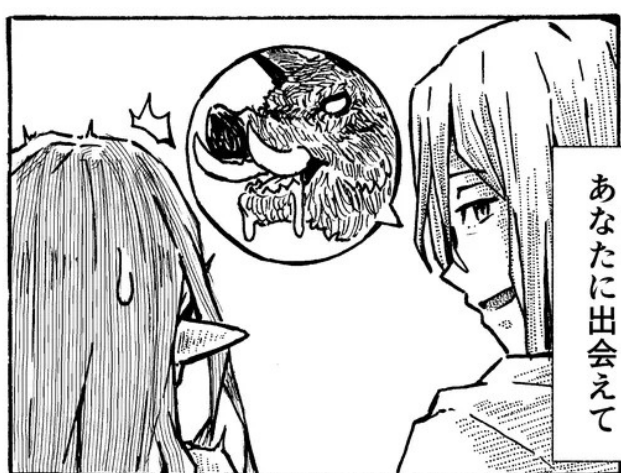
エルフとしての定め
世界樹を捨て
里を出たものの

結局森を抜けられず
あのような事に…



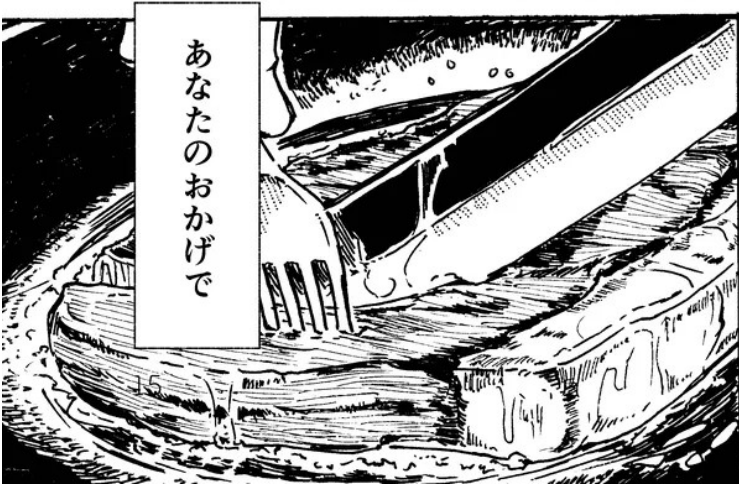
罰が当たったの
だと…

もう諦めて
いたんです

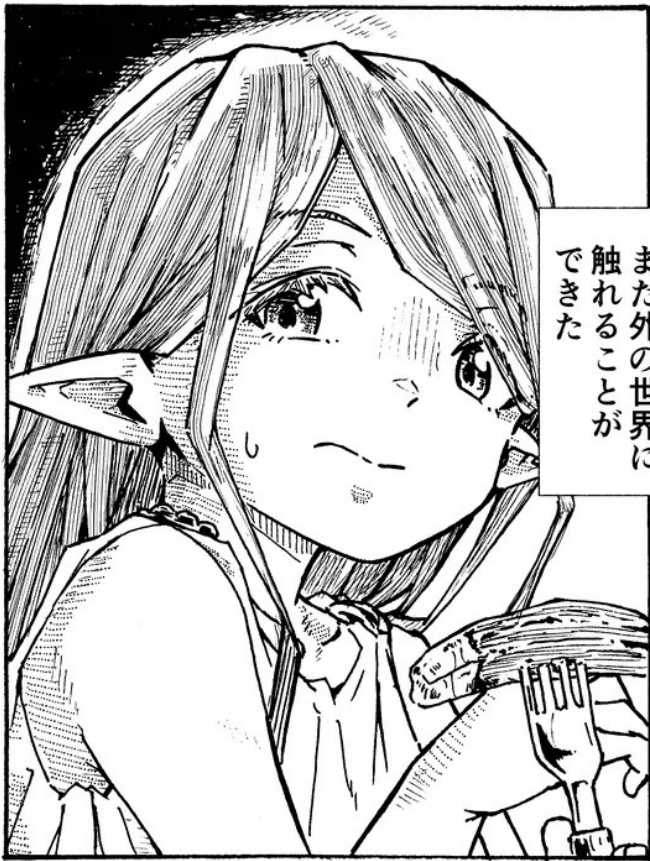


あのまま
終わるのだと…

ですが…
あなたに出会えて



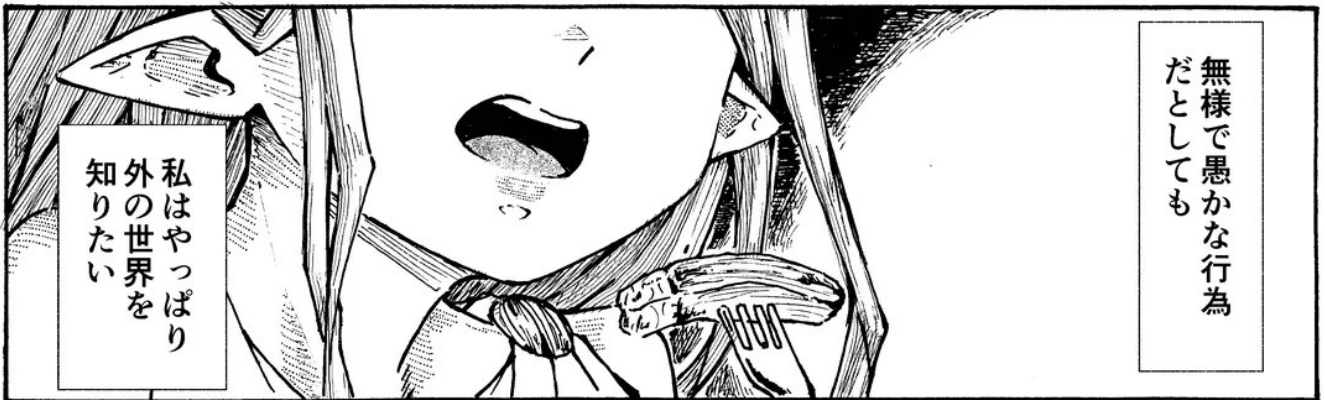
あなたのおかげで



また外の世界に
触れることが
できた



かつて料理を口に
した時のように…



無様で愚かな行為
だとしても

私はやっぱり
外の世界を
知りたい

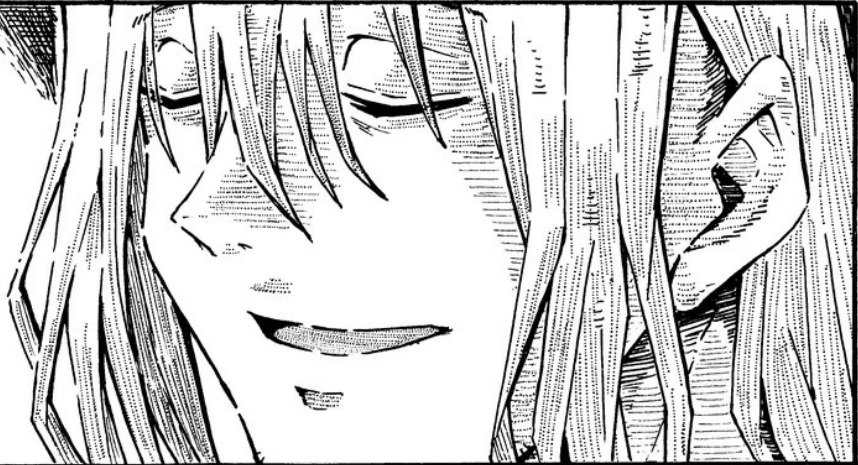




たとえ短い時で
あっても…

それだけの
価値があると

そう思ったから…



結局あなたに
頼り切りですが…

本当に料理は
大丈夫なんですネ…

人間にも魔力耐性の
高い者がいるんです

その者達も
老齢になると
それは衰える

だからエルフも
同様と…

聞いたことが
あっただけで

確証はなかつた
んですが…

大丈夫そうで
よかった

えっ？

そうだったんで
すか？

知識として
知っていても…

それが当てはまる
かはわかりません

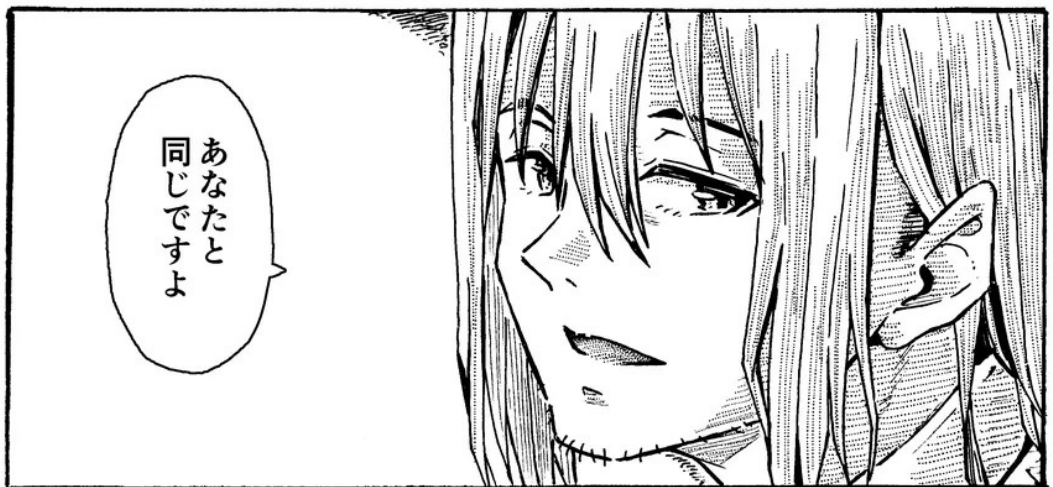
それで失敗も
たくさんしました



それでも
この世界を
知りたくて

たとえ危険だと
しても

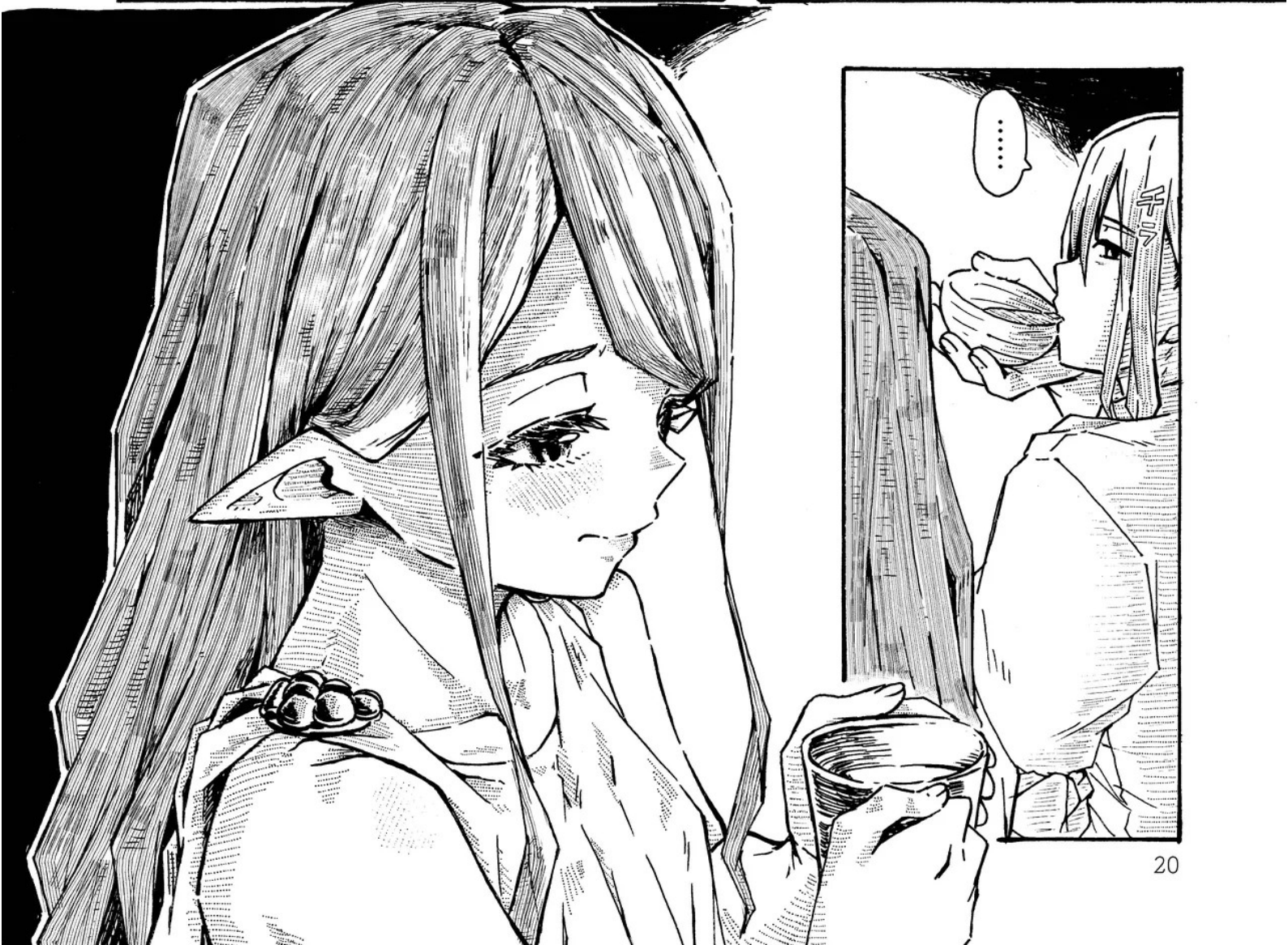
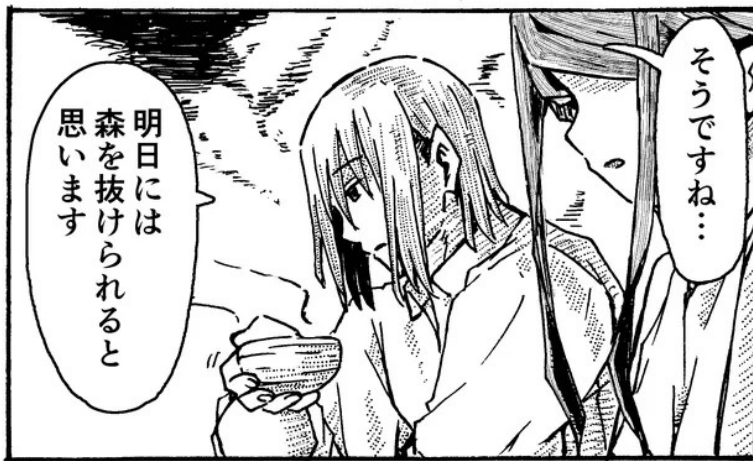
こんな所まで
きている…

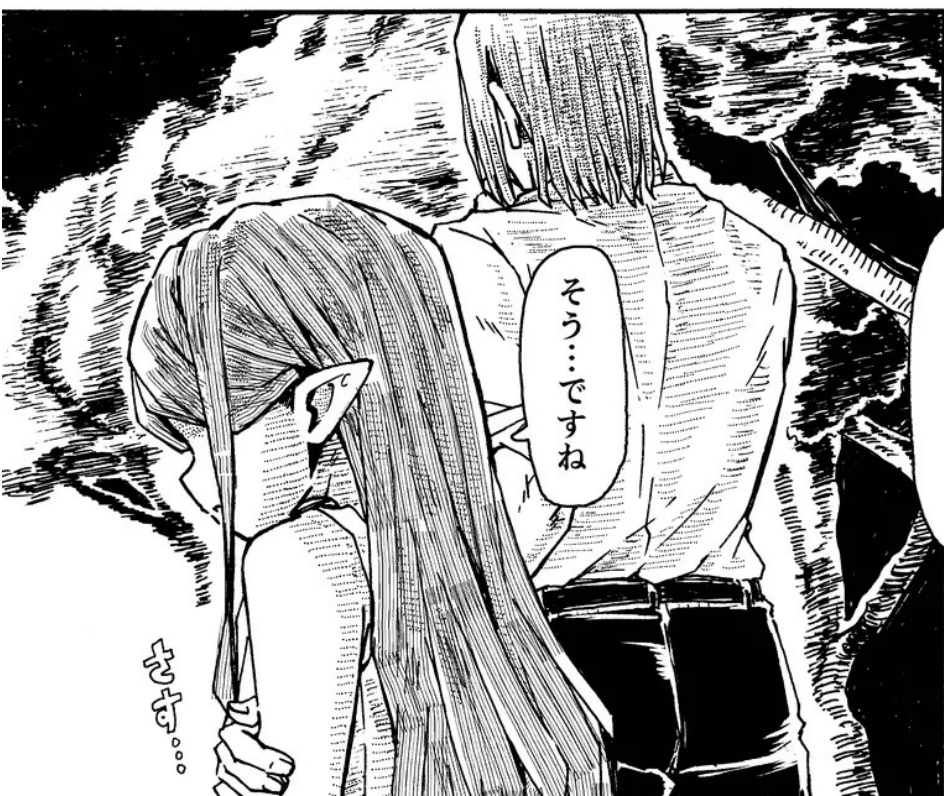
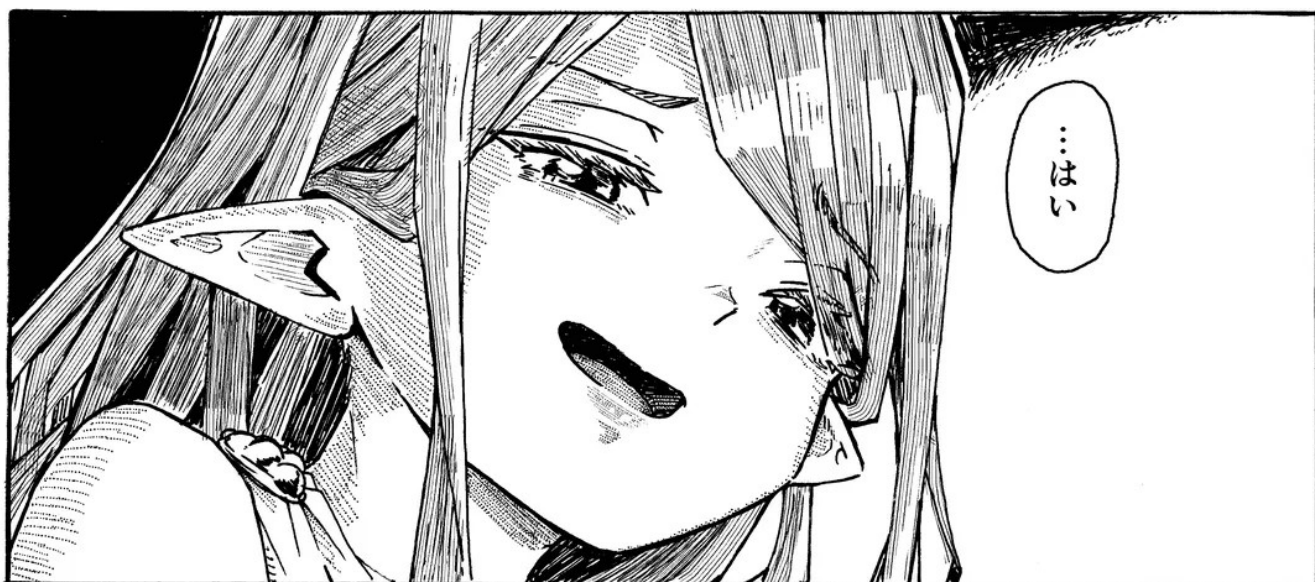


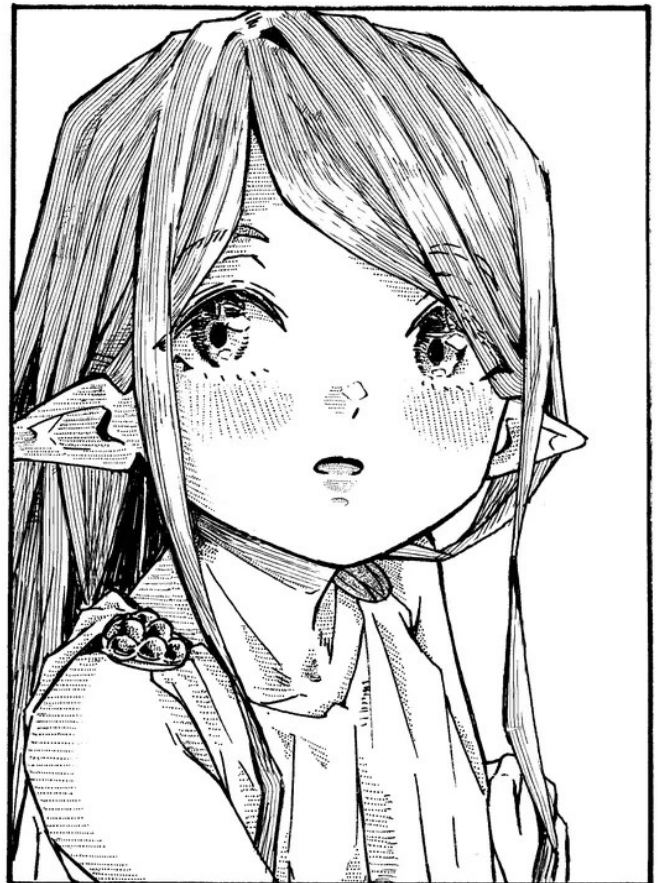
あなたと
同じですよ



...



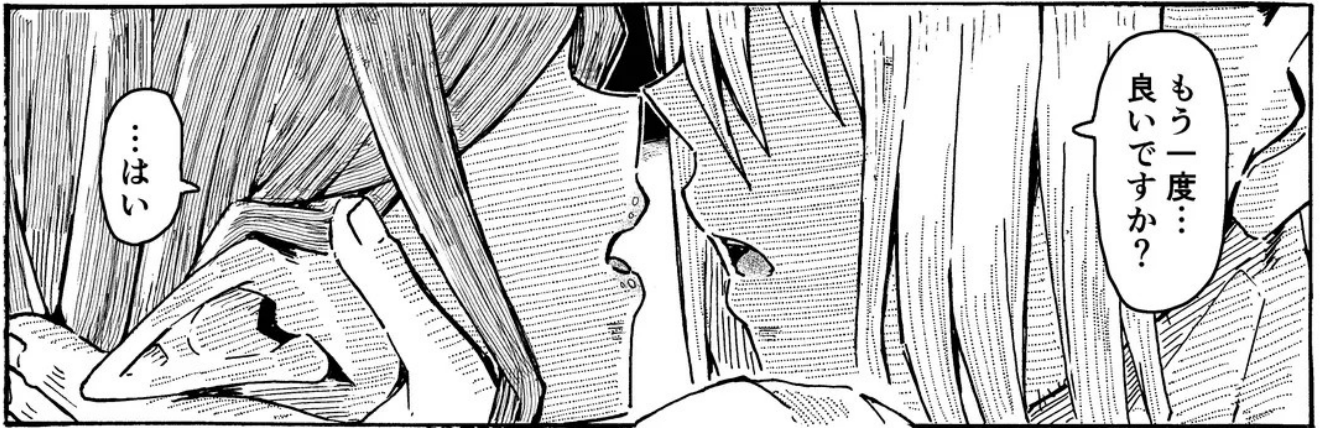
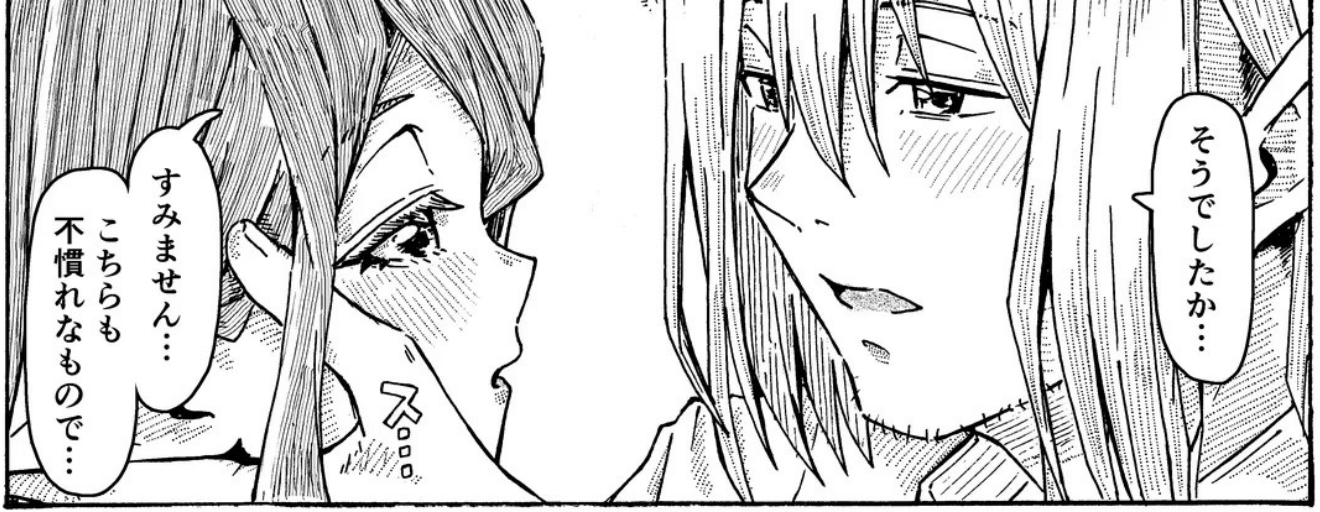


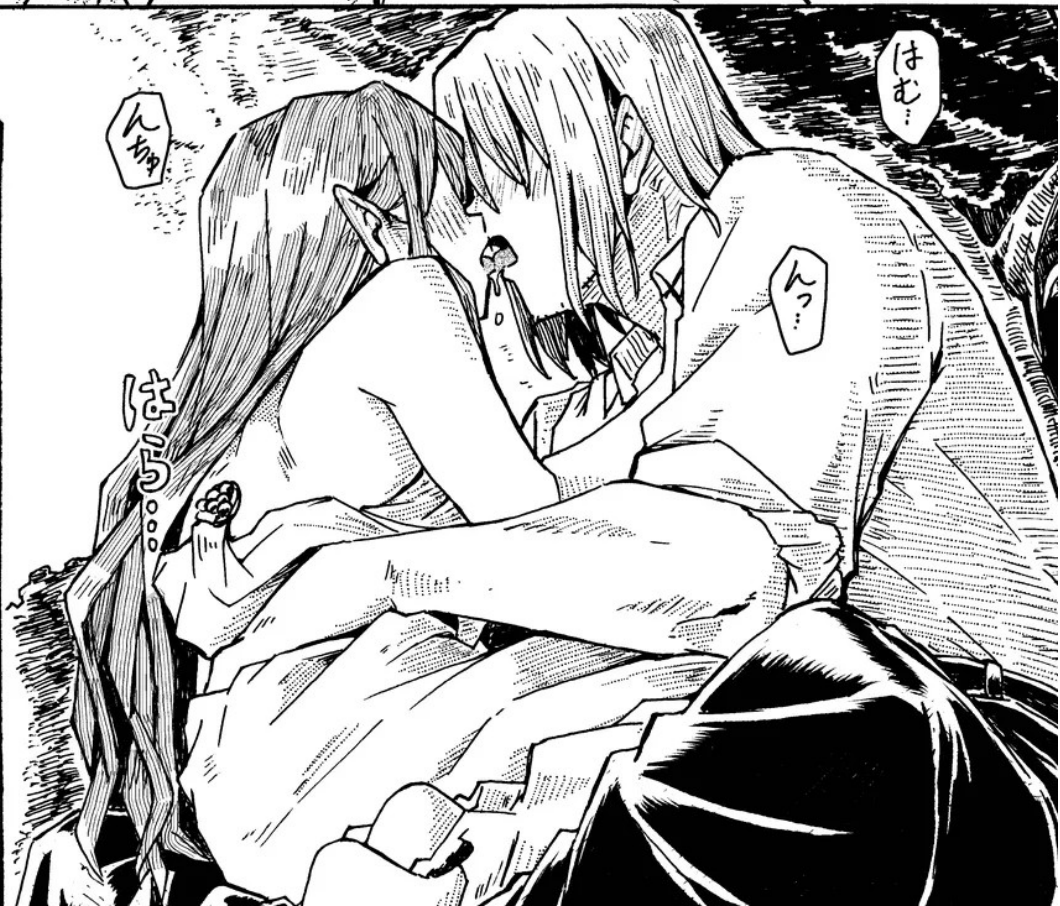
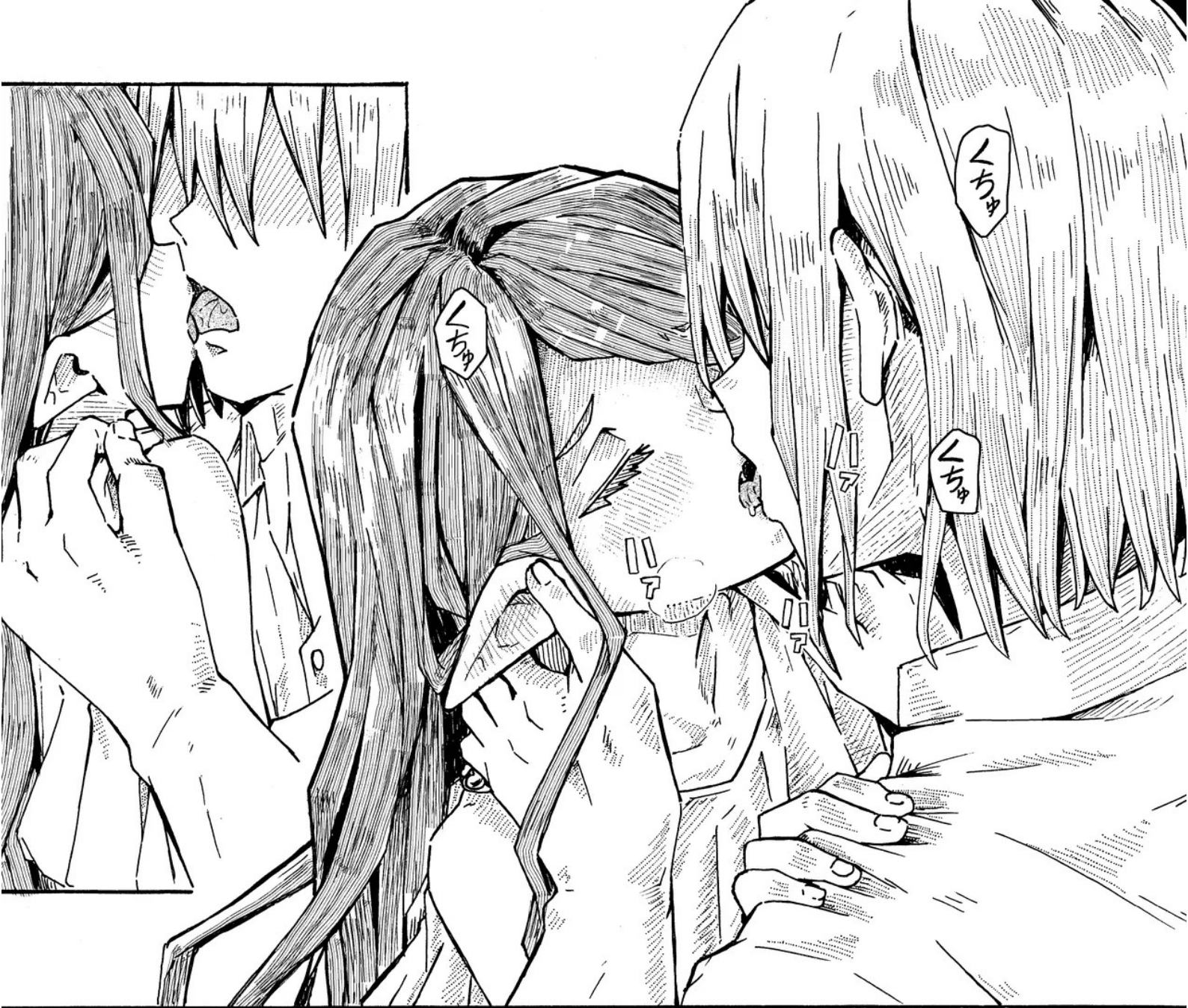


そう…ですね

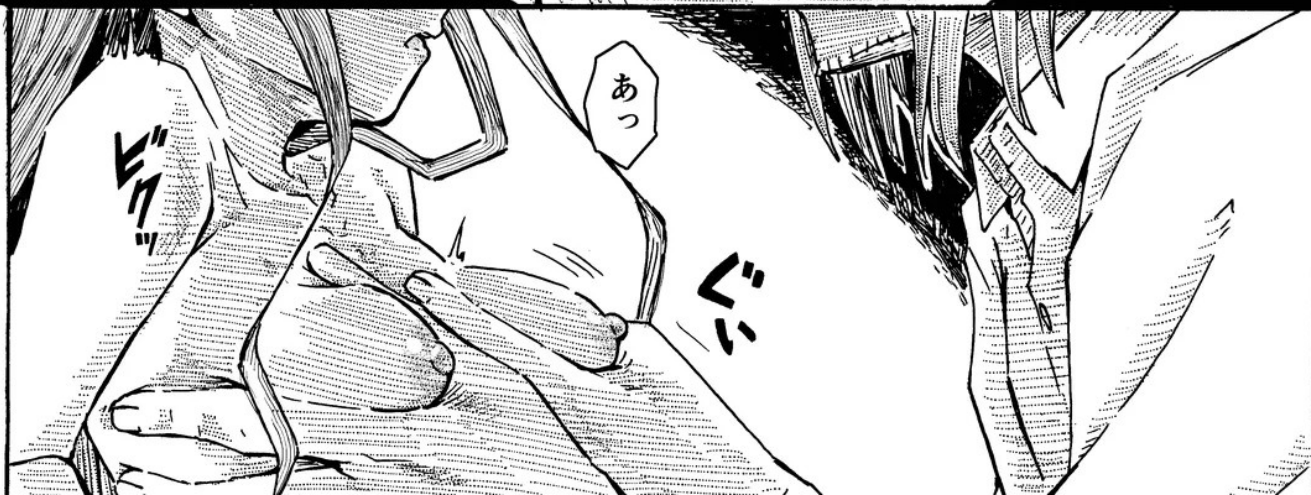


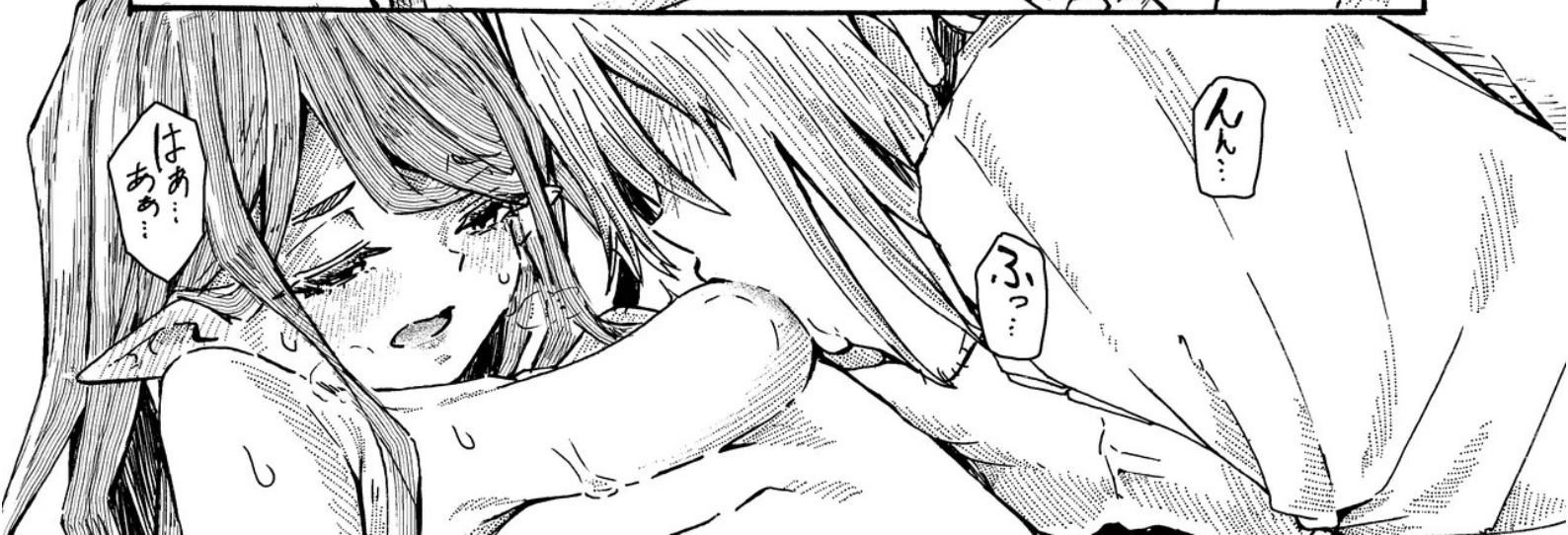
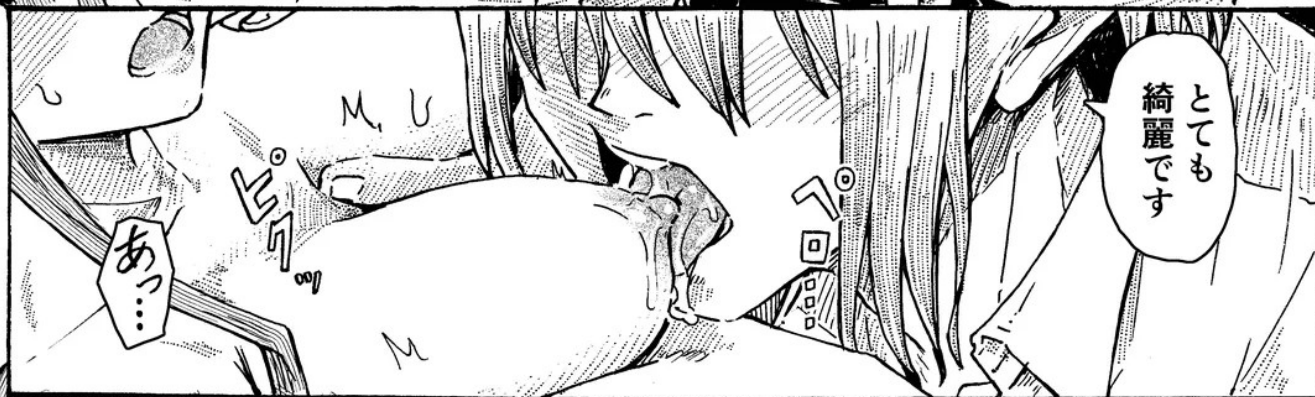


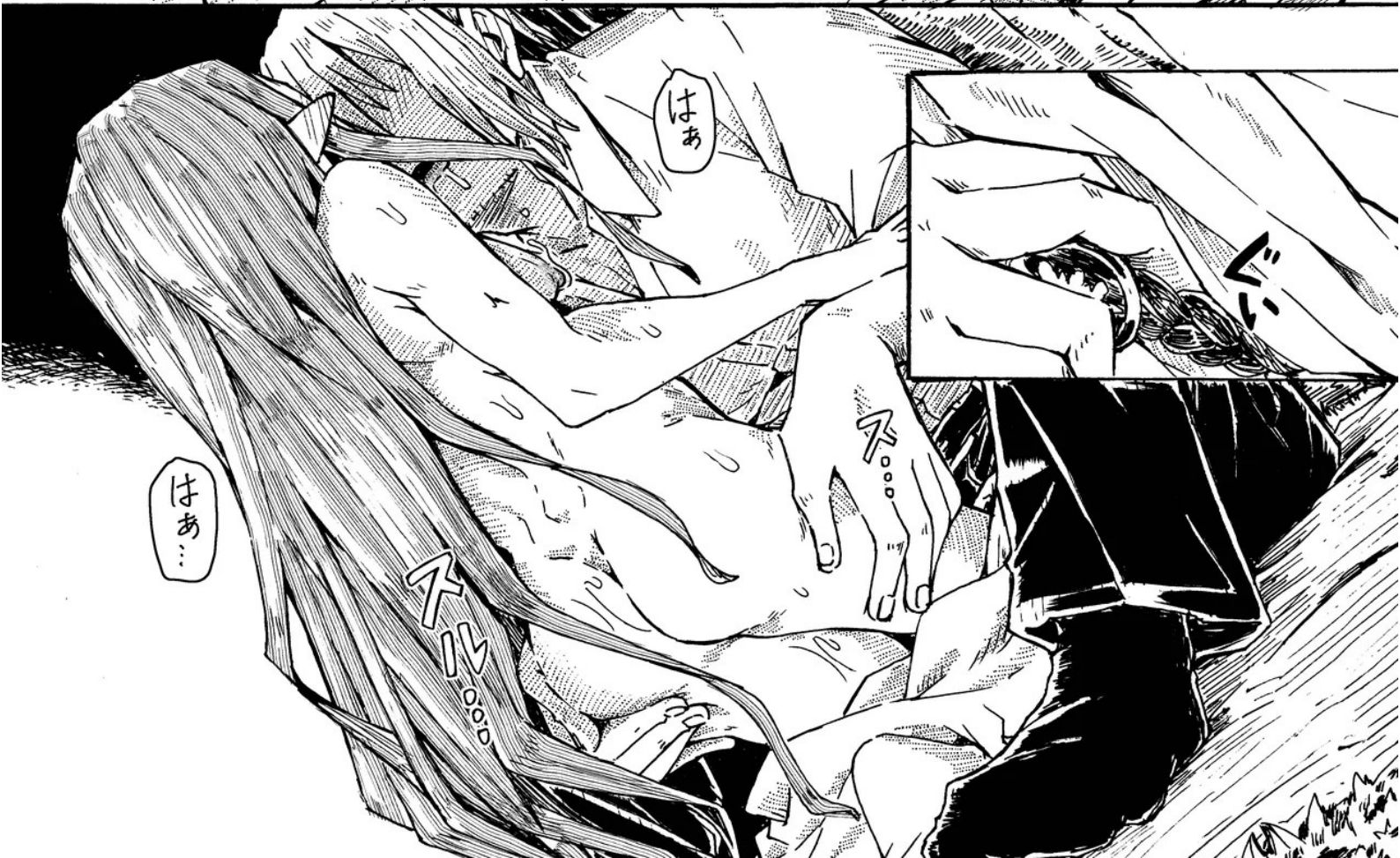
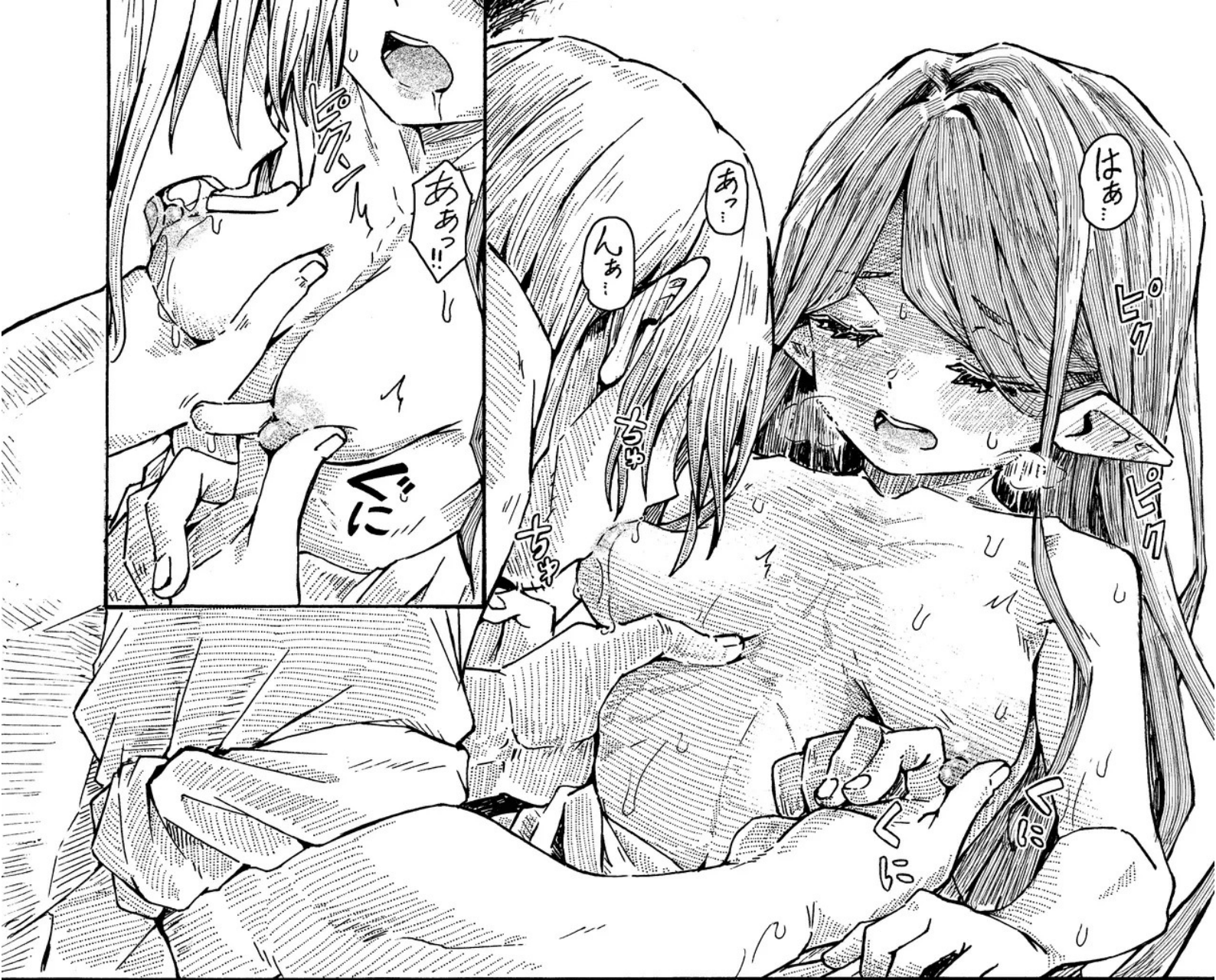




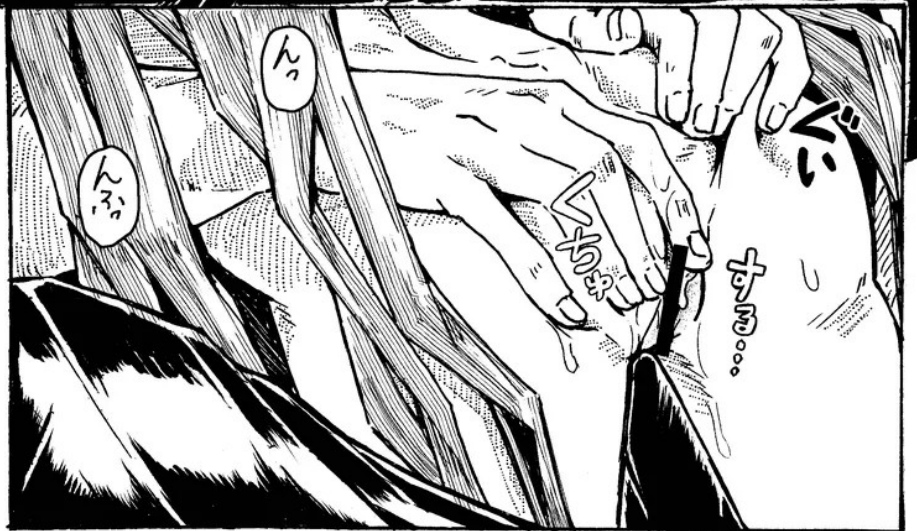






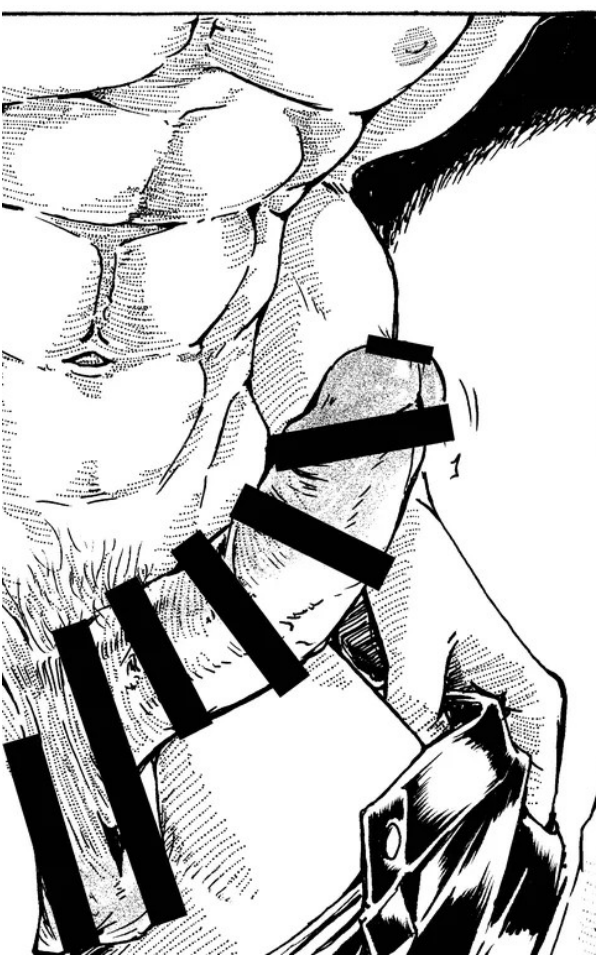


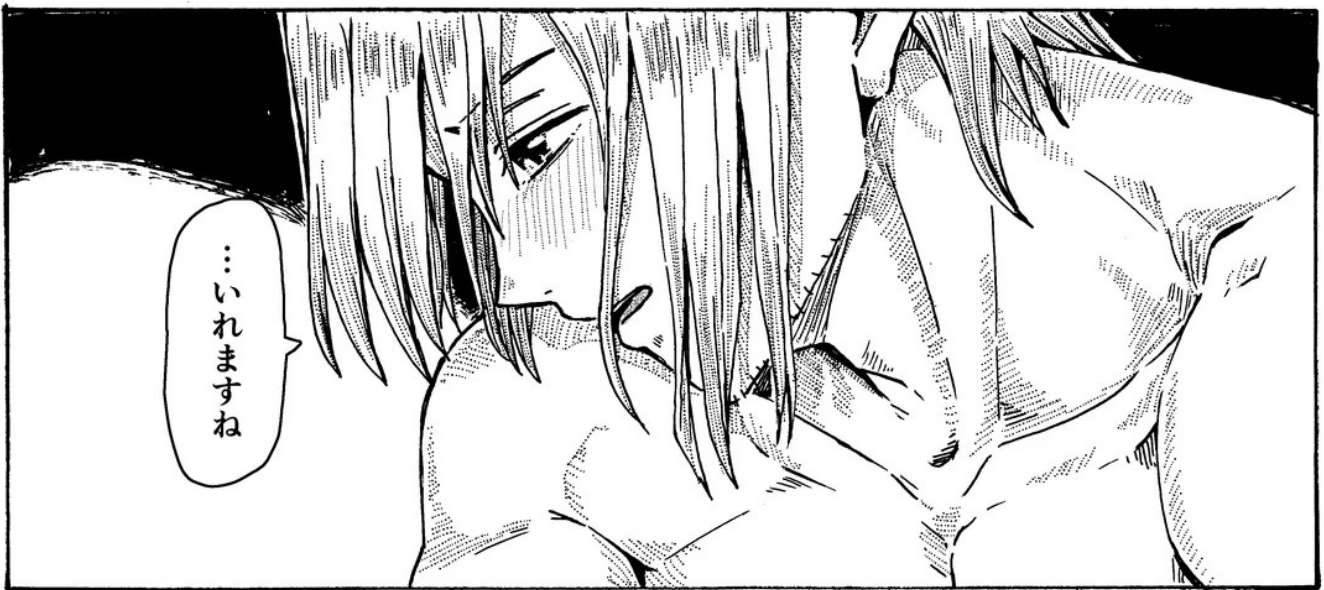


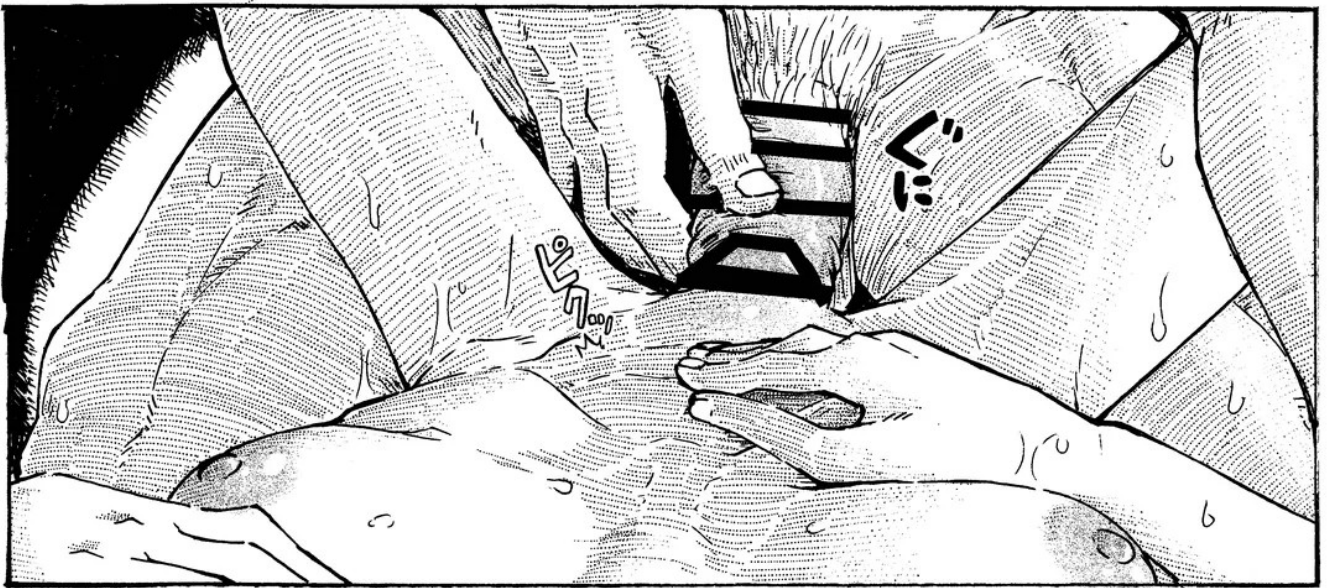


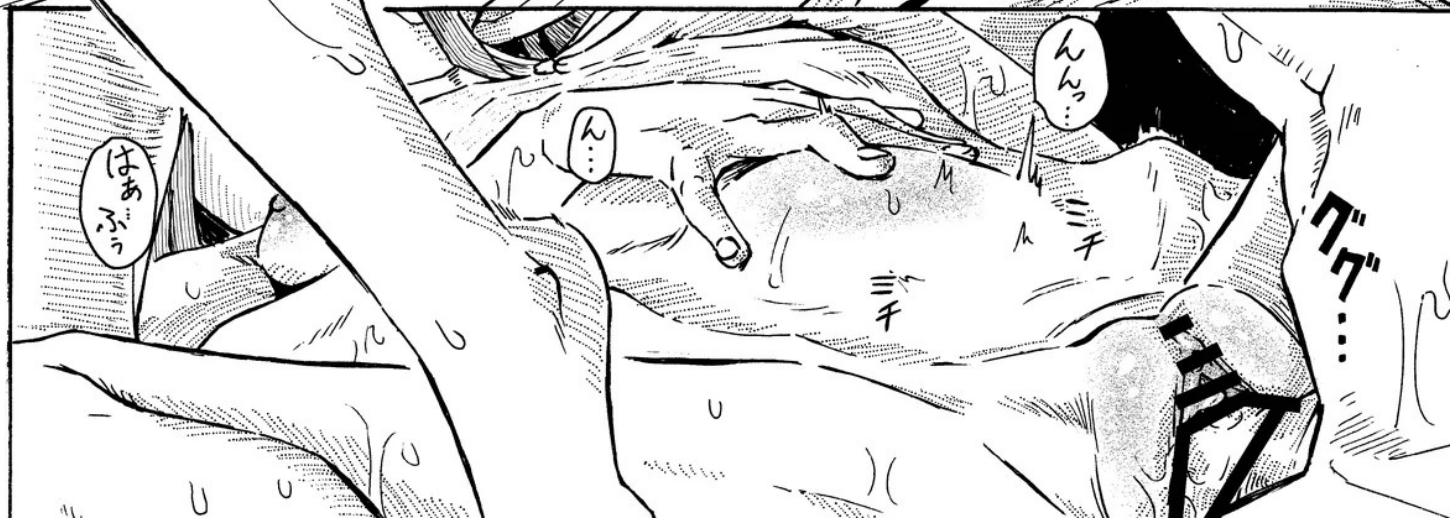


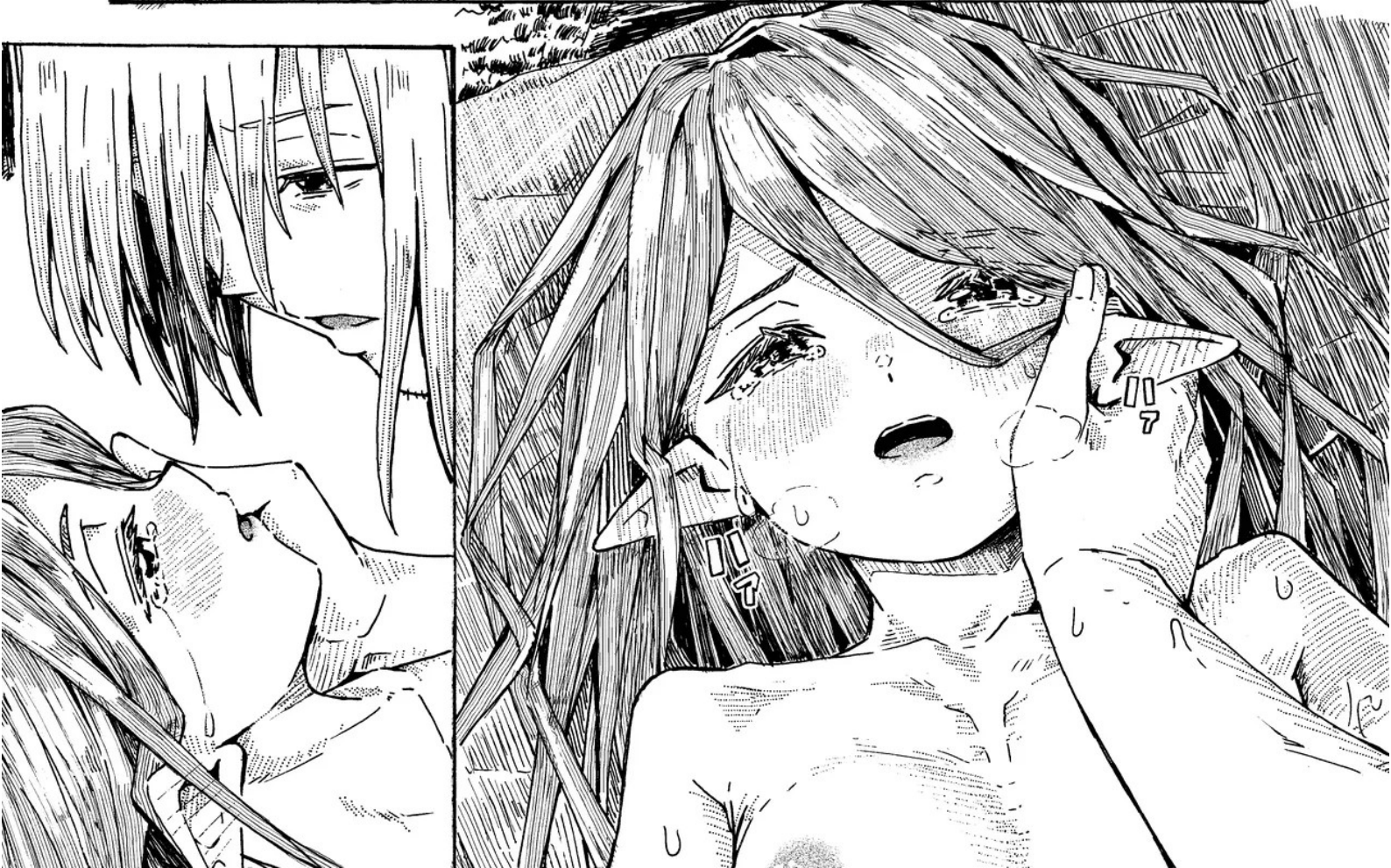
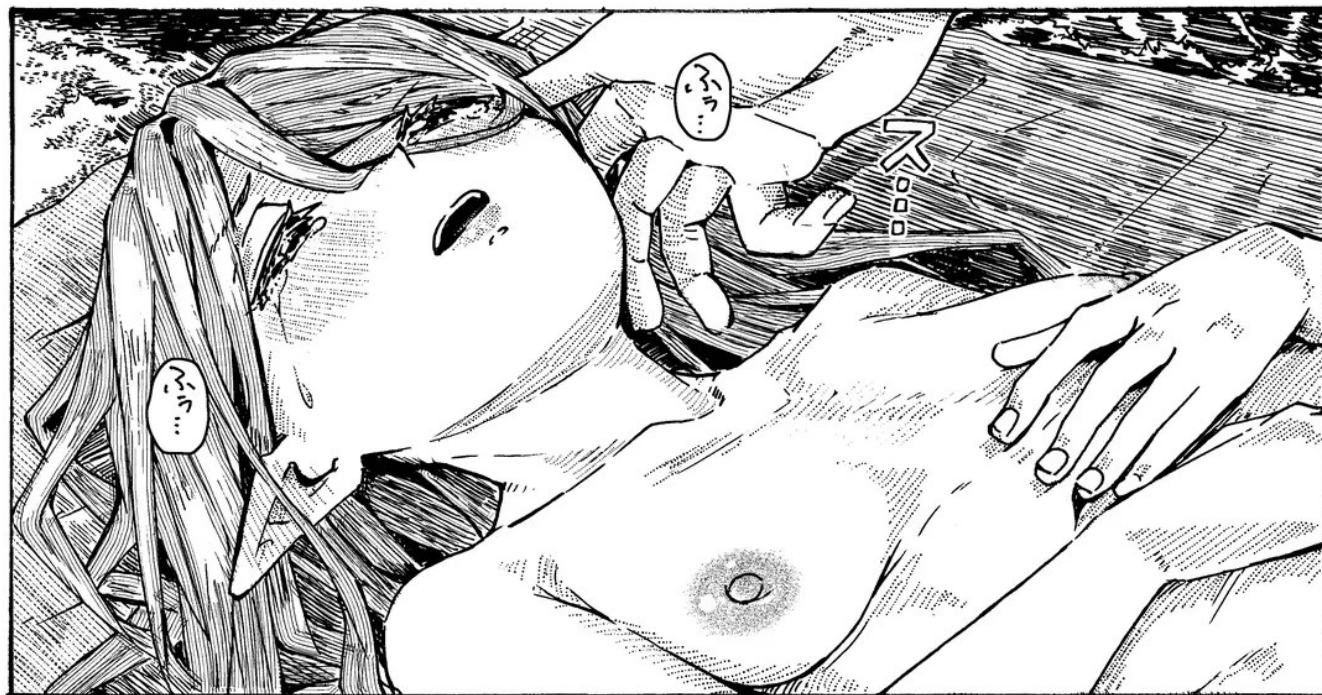


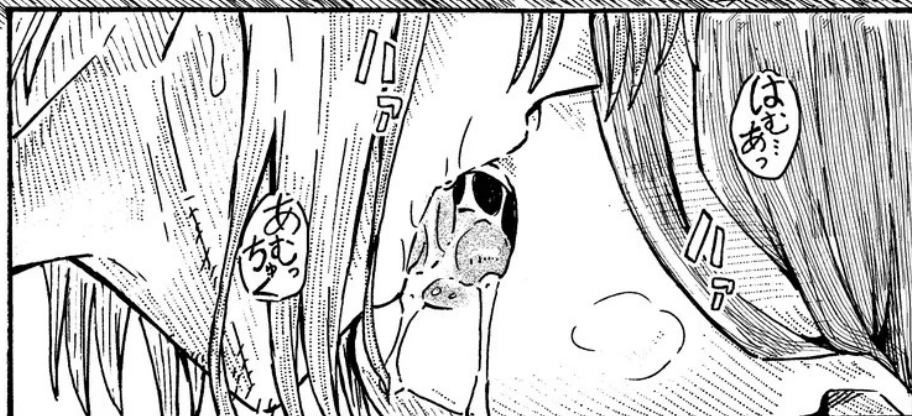
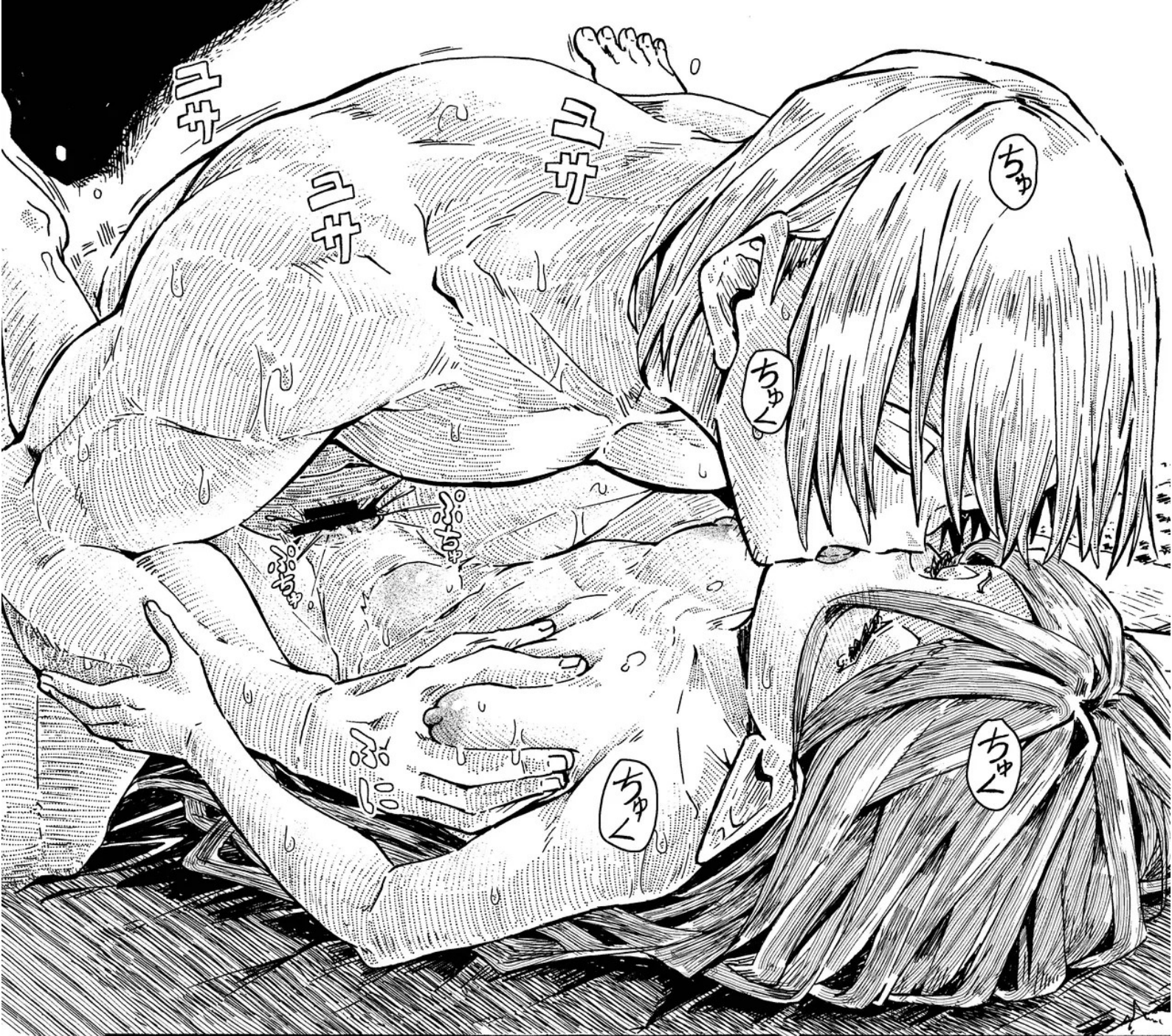


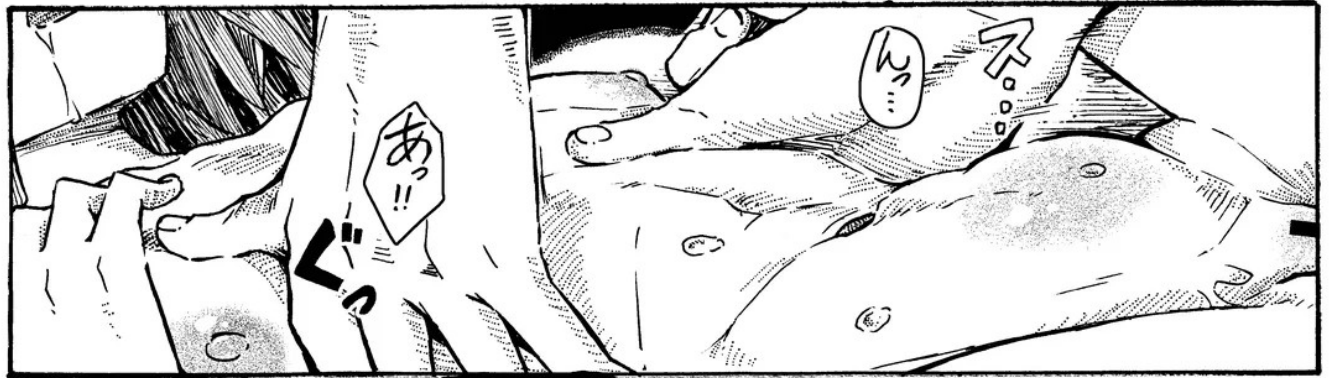
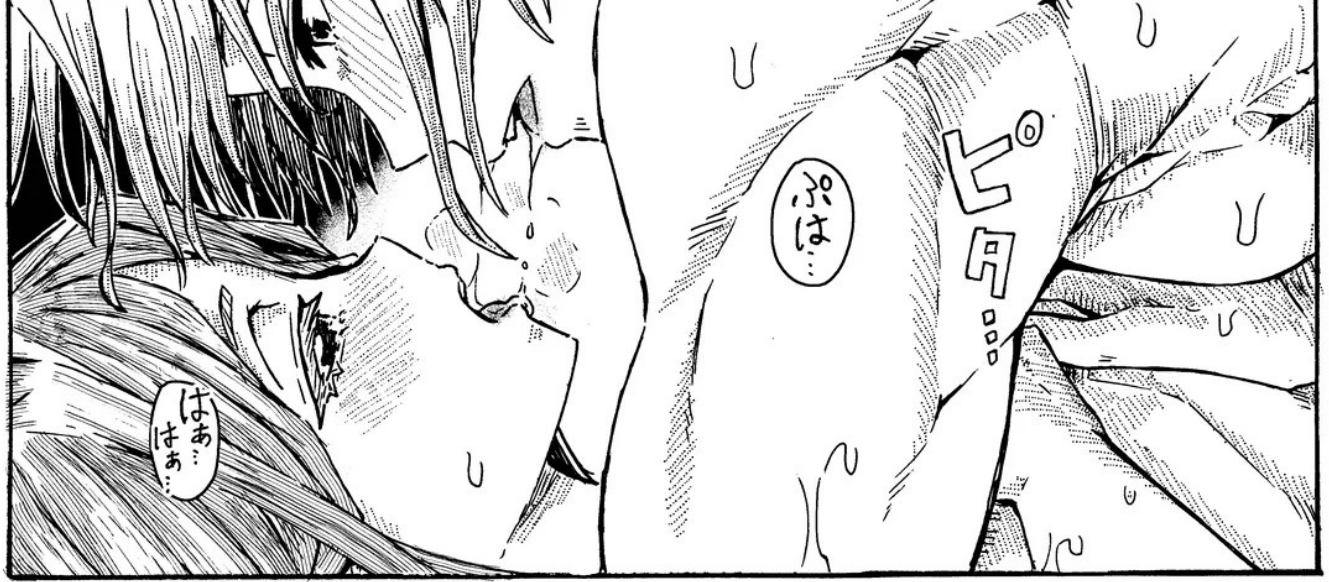






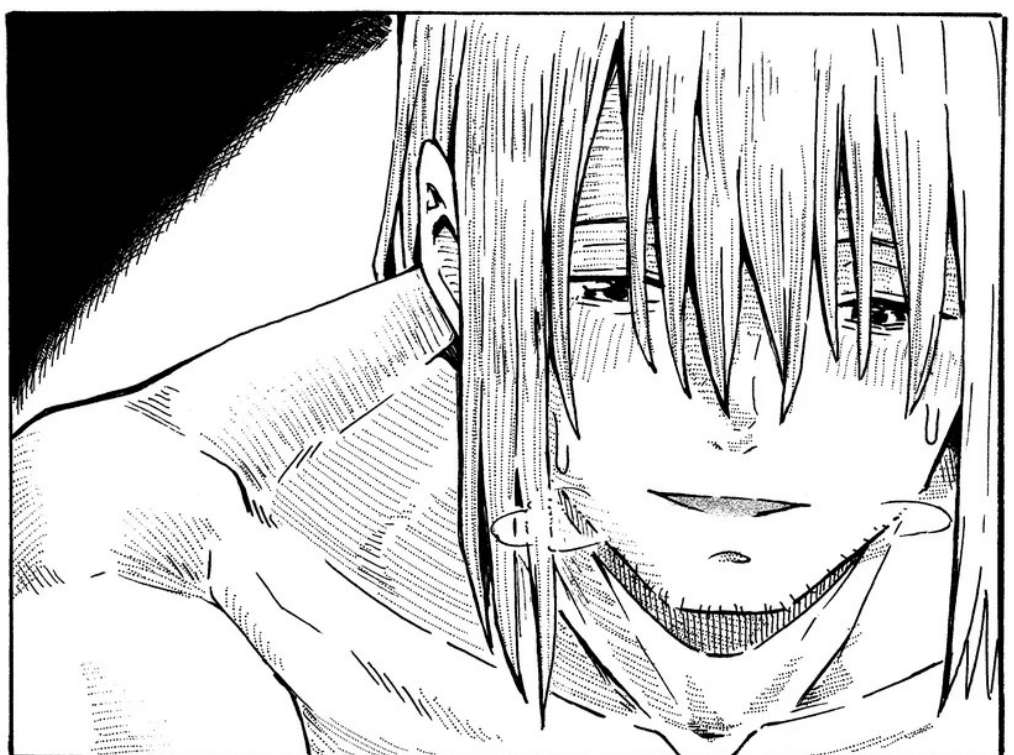
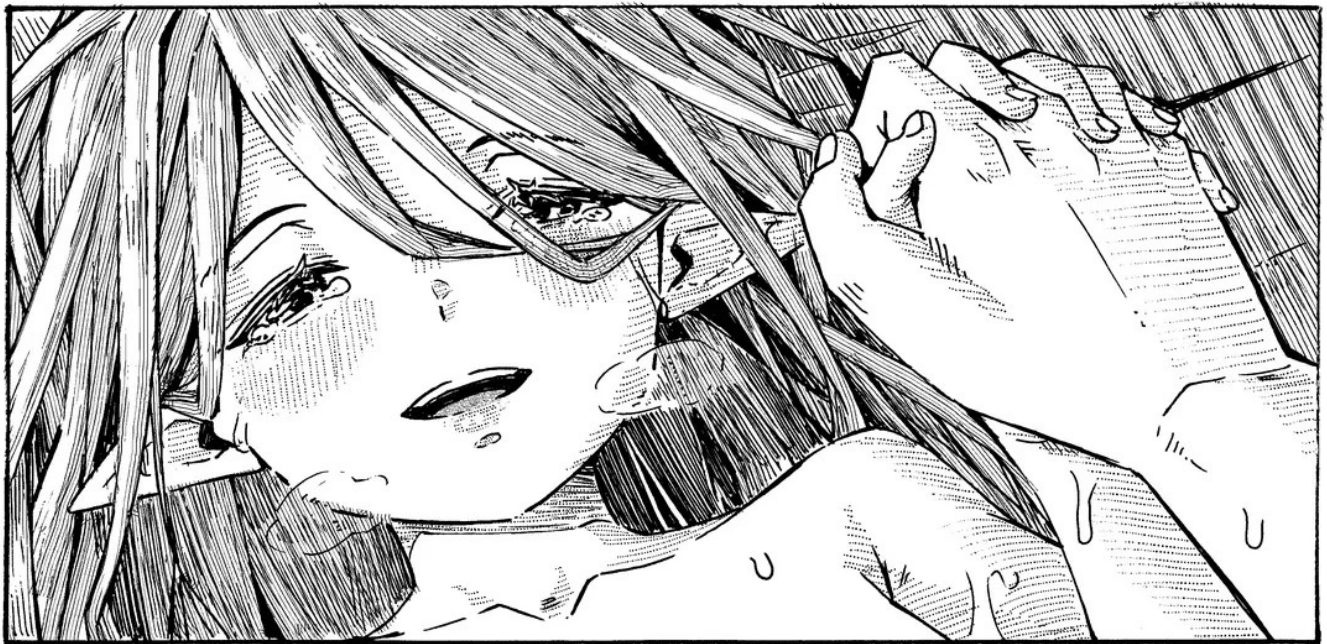
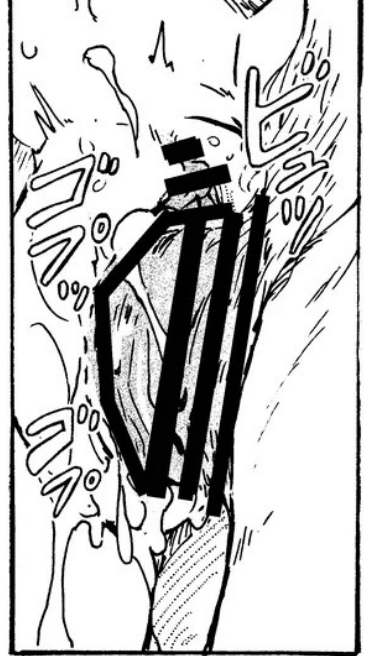
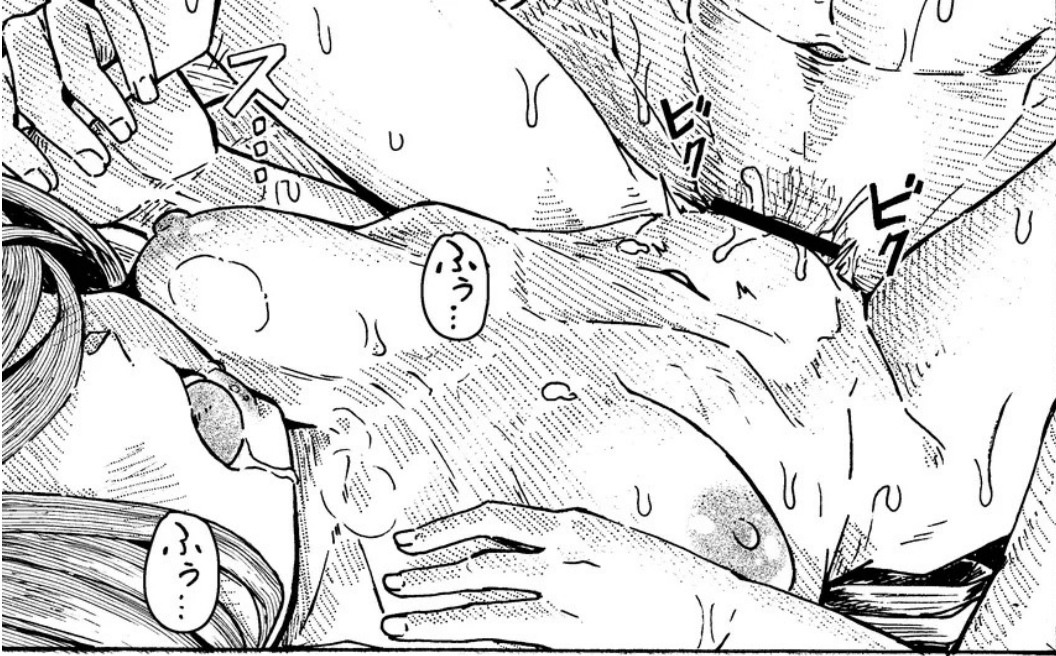


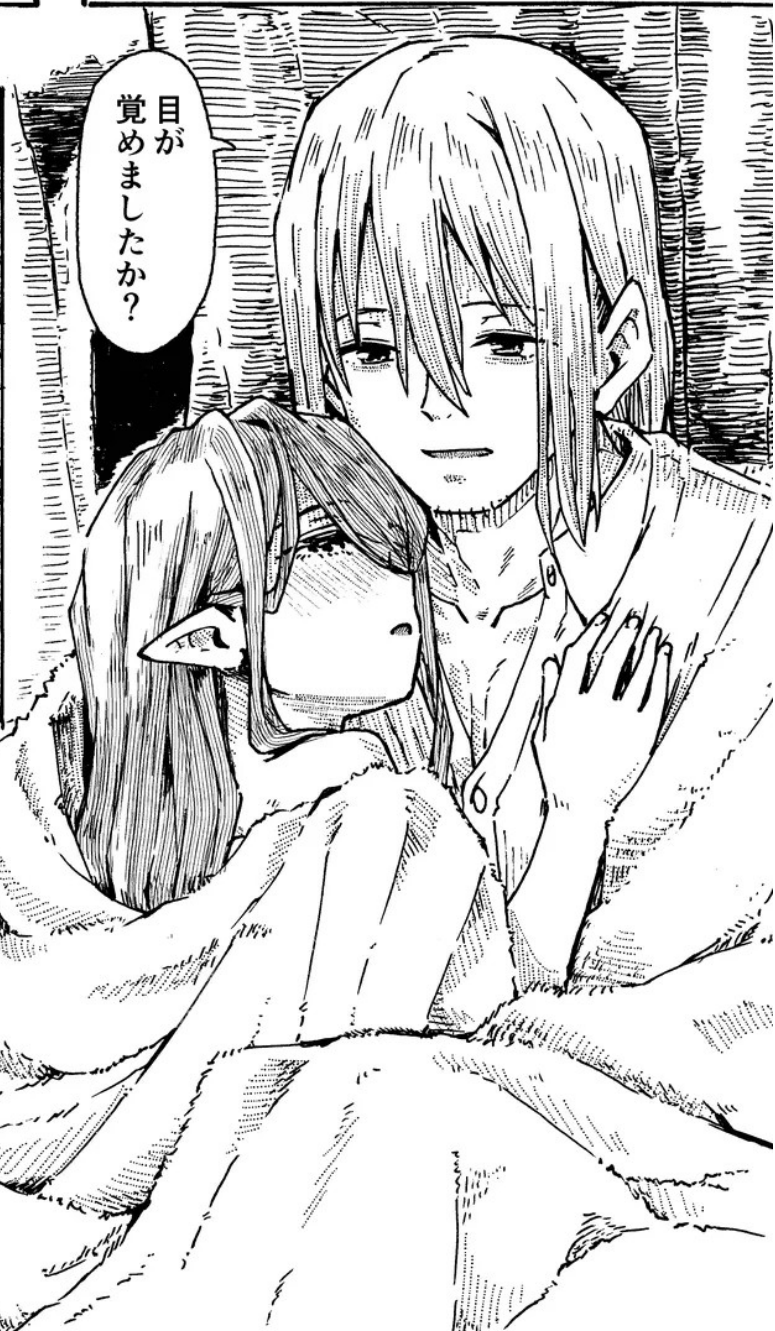
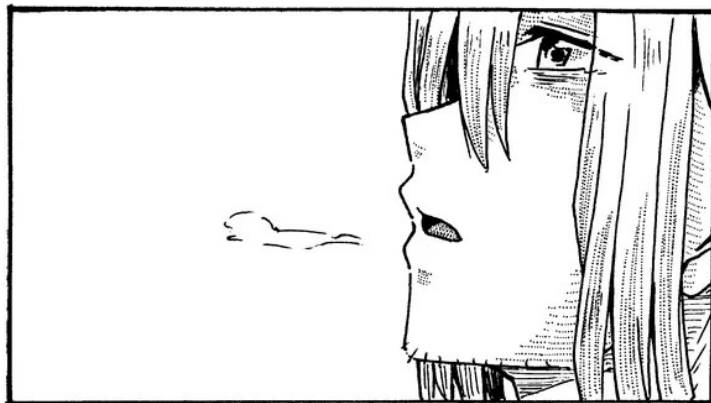














目が冴えて
しまつて…

とても刺激的な
夜でしたので…

ギ

ドキ



ずっと
起きていらした
んですか？

ええ…まあ



考え事？

はい

なので

少々
考え事を…



森を出た後のことを…

…どう、
されるんですか？



そうですね
とりあえず近くの
街で休もうかと：

まち？

たくさんの方が
暮らしていて

色々なモノが
ある場所です



美味しい料理や

ちゃんとした
寝床も

最近では湯浴みの
できる施設なんかも
ありまして：

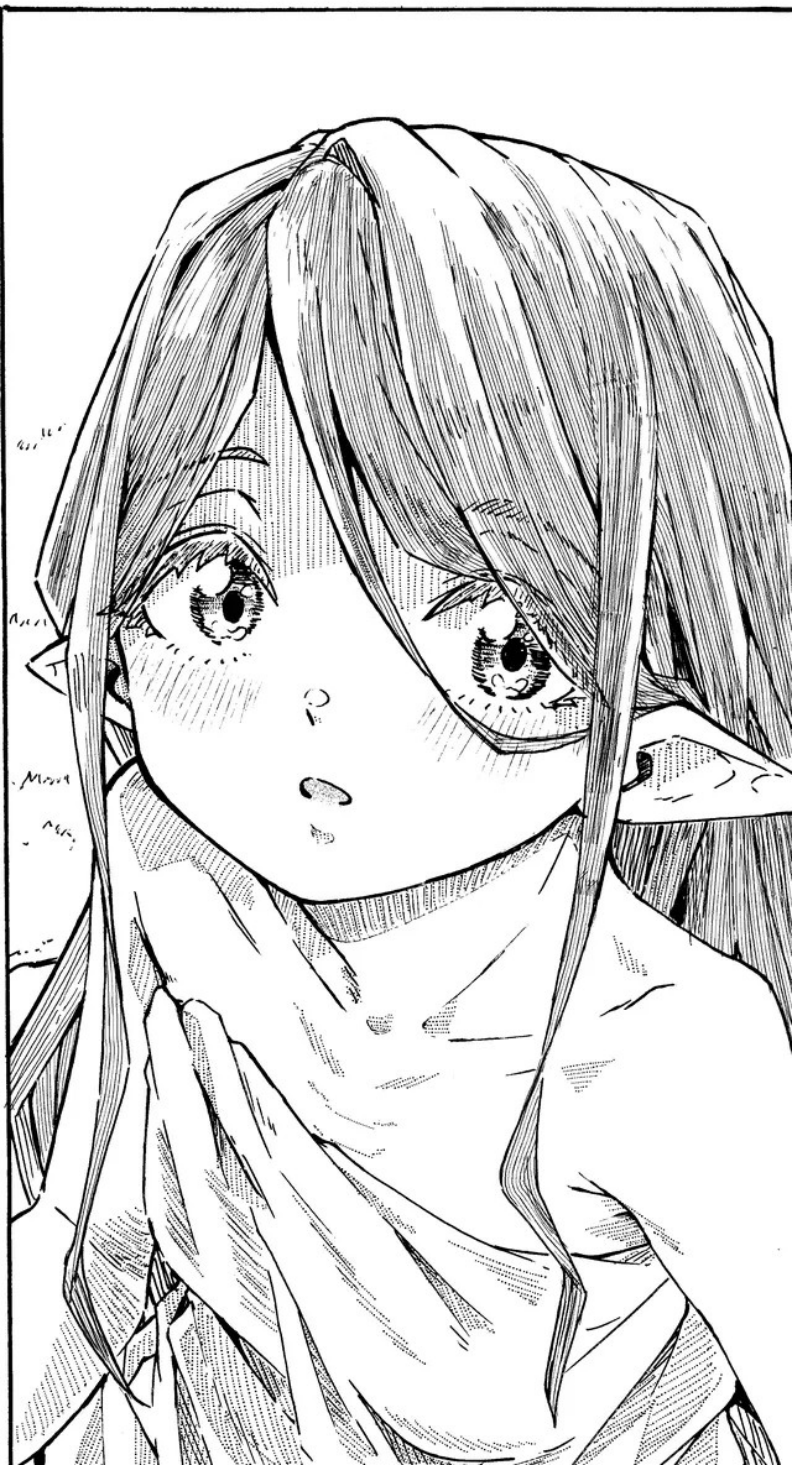
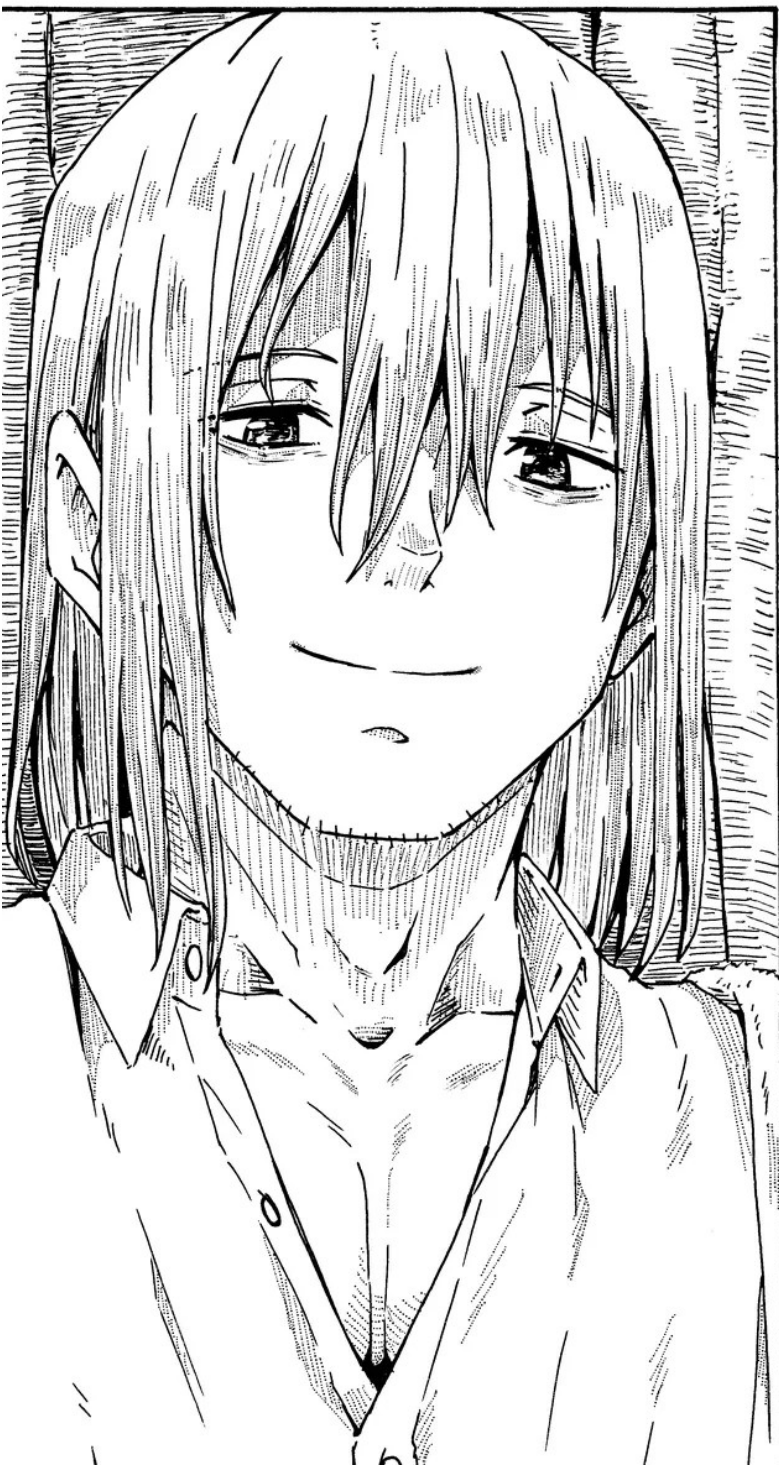
これがまた
いいんですよ

きっと…
素敵な場所なんで
しょうね

ええ

そこでゆっくり
休んだら：

また一緒に
旅に出ましょう

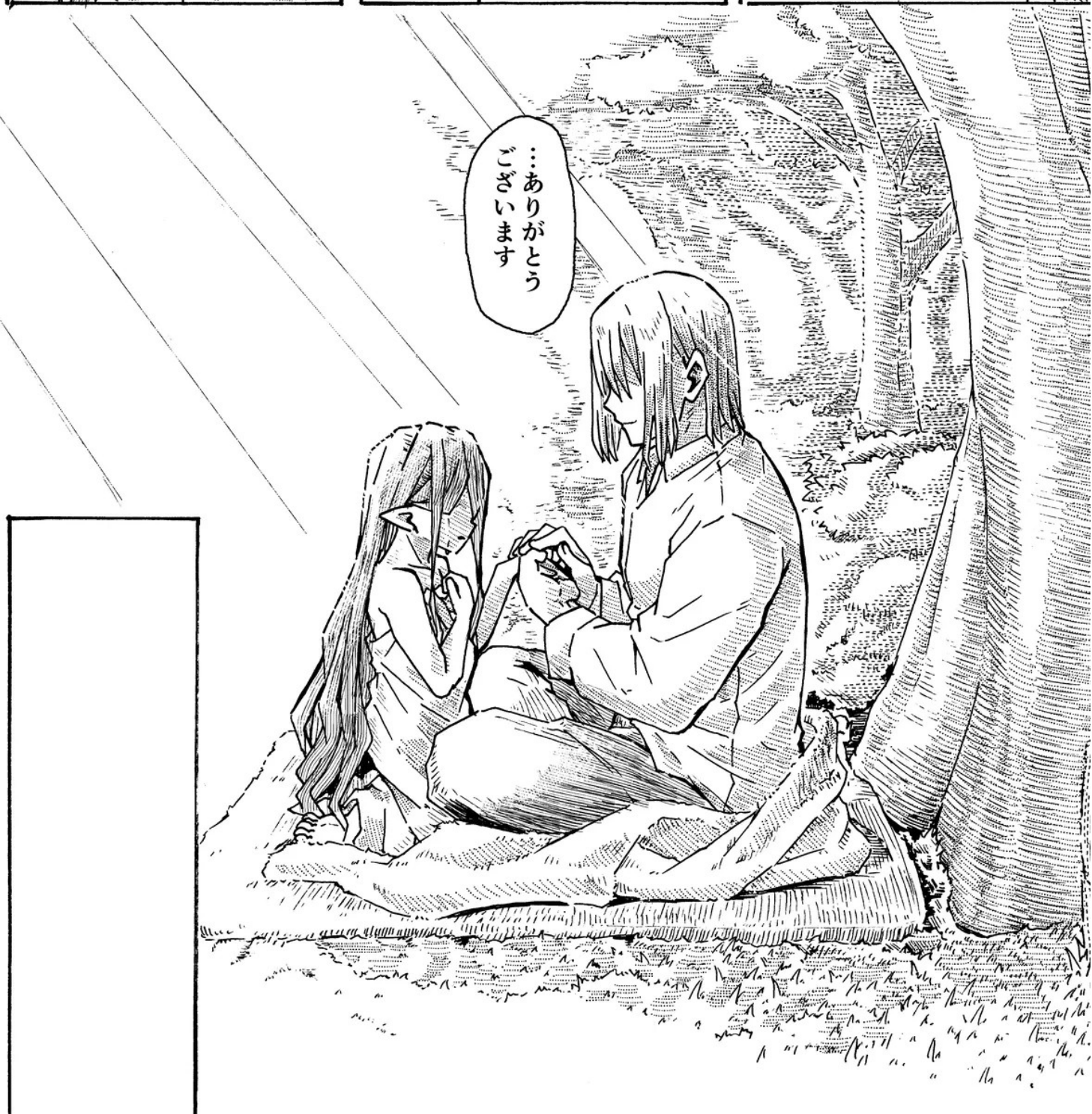


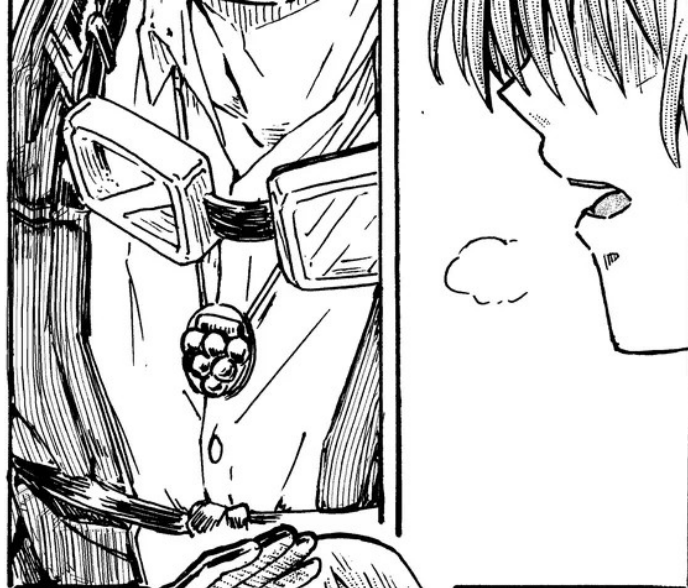
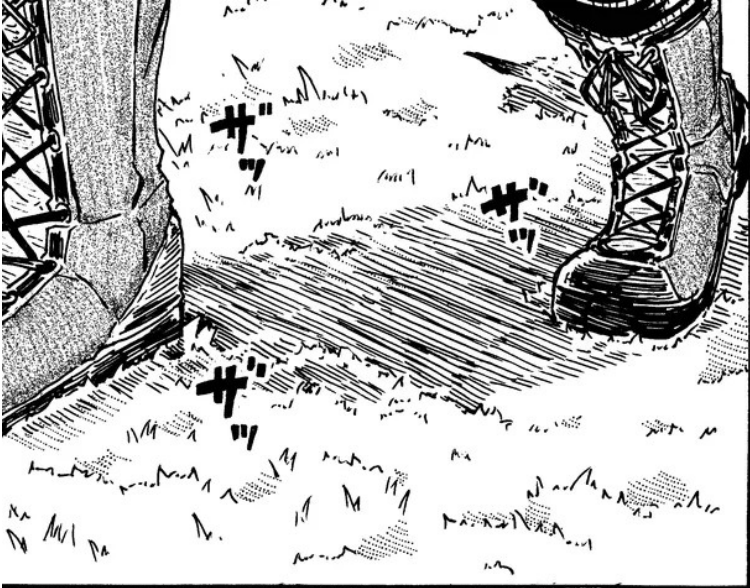


あなたさえ良ければ
ですが…

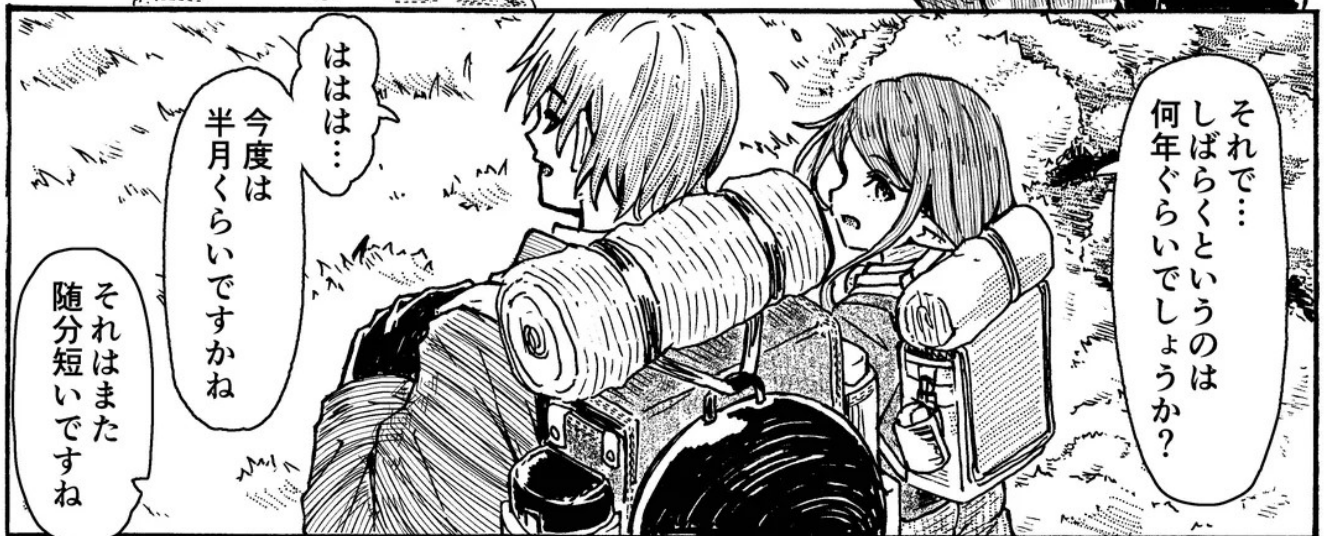
最後のその時まで
あなたと世界を
見てまわりたい

…ありがとう
ございます





…あれが
次の街ですか？



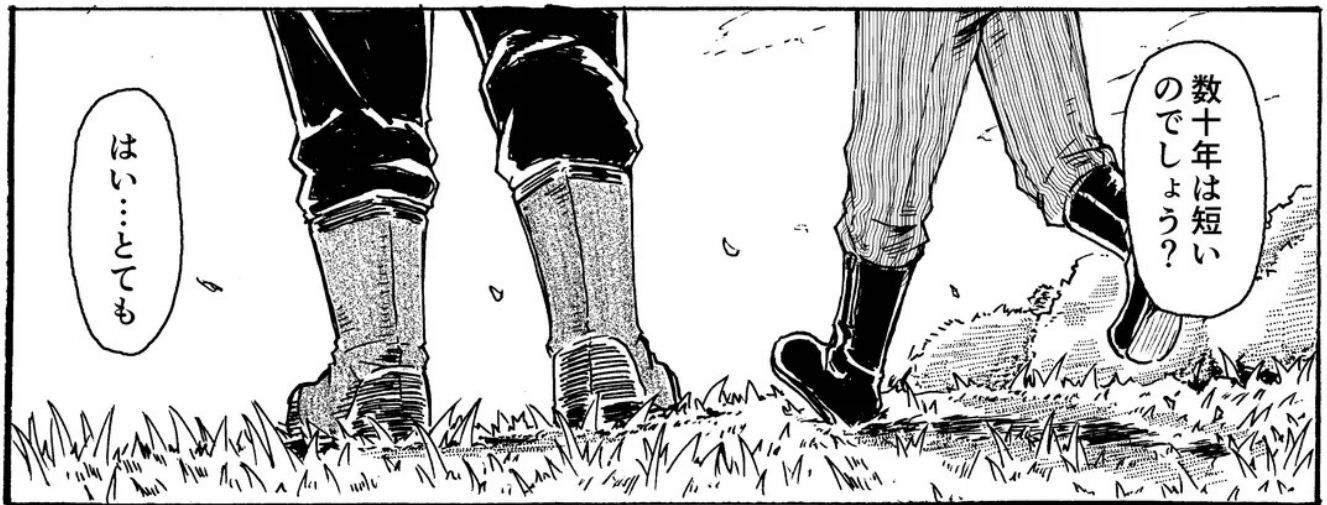


それじゃ残された
時間もあつという間ですよ

エルフが悠長すぎる
だけです

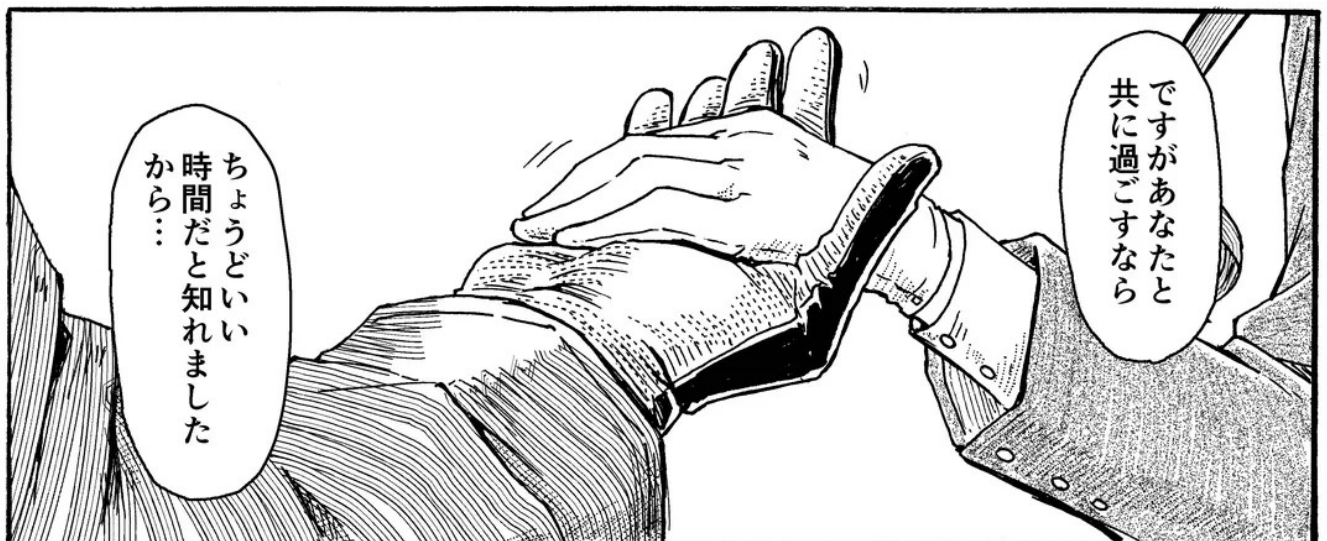


本当に人の時間は
忙しくて目まぐる
しいですね…



はい…とても

数十年は短い
のでしょうか？



ちょうどいい
時間だと知れました
から…

ですがあなたと
共に過ごすなら

短い時間ですが…

これから
末永くよろしく
お願いします



－ 奥付 －

『エルフの終活』

著者：ハードボイルドよし子

HP：<https://katayudeegg.com/>

(Mail：katayude445boil@gmail.com)

発行：かたゆでたまご

(代表：ハードボイルドよし子)

- ・本書の内容は全てフィクションです。
- ・実在の人物・団体・事件・名称・史実・事象とは一切関係がありません。
- ・本書の18歳未満の方の購入・閲覧は禁じます。
- ・本書の無断販売・複製・転載
WEB上へのアップロードは禁じます。

